

スポーツに関する市民意識調査

①調査の概要

- ・ 対象者 新発田市在住の満 15 歳以上の市民 1,750 人
- ・ 調査方法 郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間 令和 5 年 6 月
- ・ 回収状況 回収数 393 人 回収率 22.5%

②調査結果

以下の調査結果は、整数で表しているものの単位は(人)、小数第一位まで表示されているものの単位は(%)となっています。なお、調査結果の回答比率(%)は小数第二位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。また、アンケート中の“複数回答可”の設問は、合計が 100.0%を超える場合があります。

回答者の属性

(1)性別

性別の記載なしを除いた男女別の回収率は、男性が 44.5%、女性が 55.5%となっており、市の人口比率(令和 5 年 4 月現在：男性 48.8%、女性 51.2%)と比較すると、女性の回収率が高くなっています。

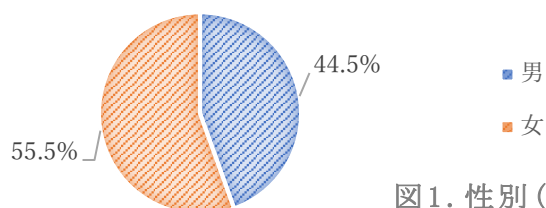


図 1. 性別 (%)

(2)年齢

年齢別では、50 歳代以上を合計すると過半数を超える 59.6%となっており、これらの年齢層の関心の高さがうかがえます。

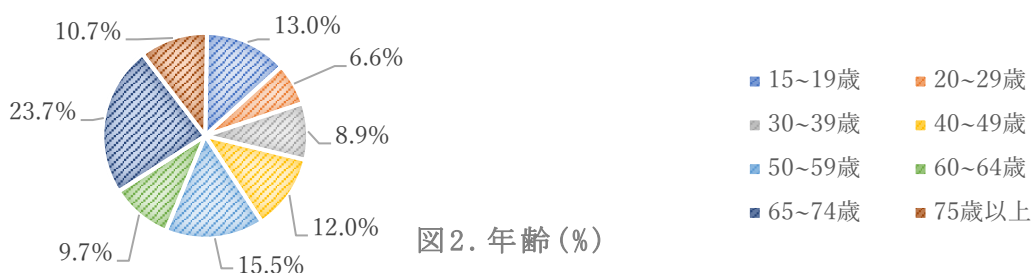


図 2. 年齢 (%)

(3) 職業等

職業等では、勤め人（全日、臨時、パート等）が 41.2%とおよそ半数を占めており、次いで家事専業が 17.6%、学生が 14.5%、となっています。

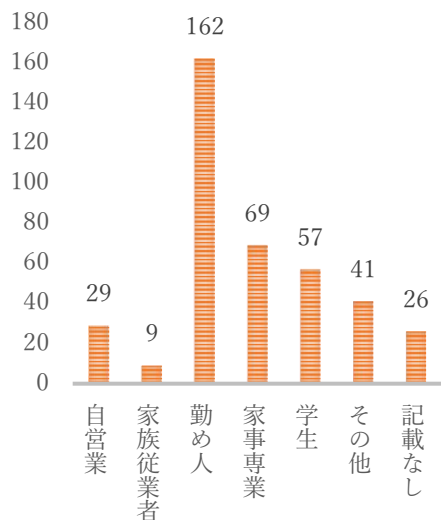


図3. 職業等（人数）

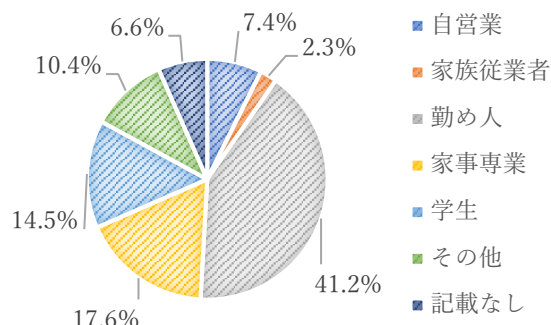


図4. 職業等（%）

(4) 地区

地区別の回収数は、本庁地区(旧新発田市内)、豊浦地区、加治川地区、紫雲寺地区の順となっています。本庁地区には大規模スポーツ施設(サン・ビレッジしばた、カルチャーセンターなど)があることも、この結果の要因の一つであると考えられます。

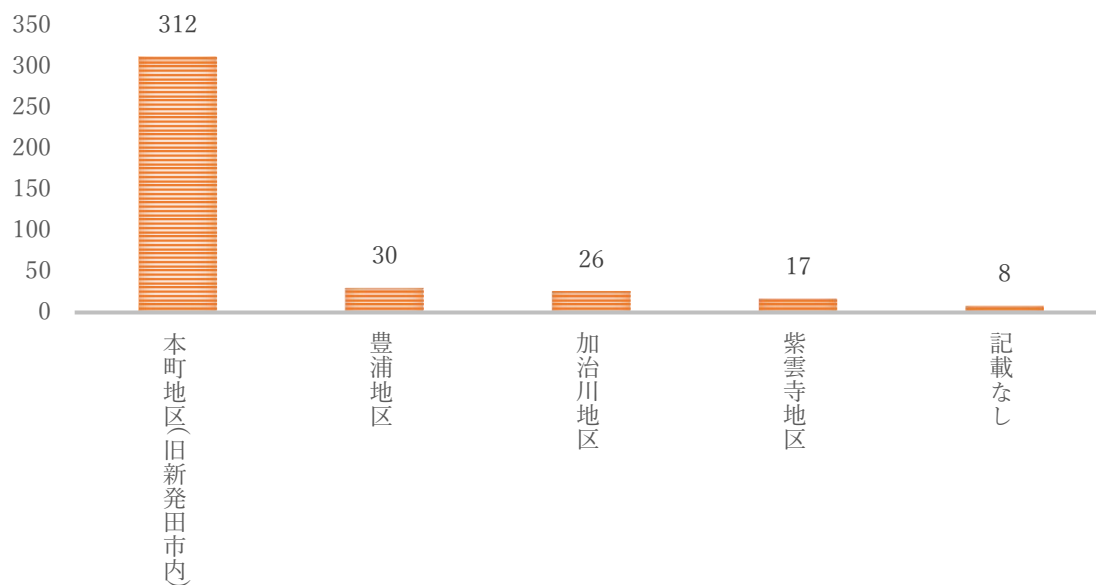


図5. 地区（人数）

健康・運動不足への認識

(1)健康であると思うか

「健康である」(29.5%)、「どちらかといえば健康である」(45.0%)の合計が74.5%となっており、回答者の約4分の3が自分は健康であるとの自覚を持っています。年齢別では、30歳代までは「健康である」が3人に1人以上の割合となっていますが、40歳代以降は4人に1人以下に低下しています。

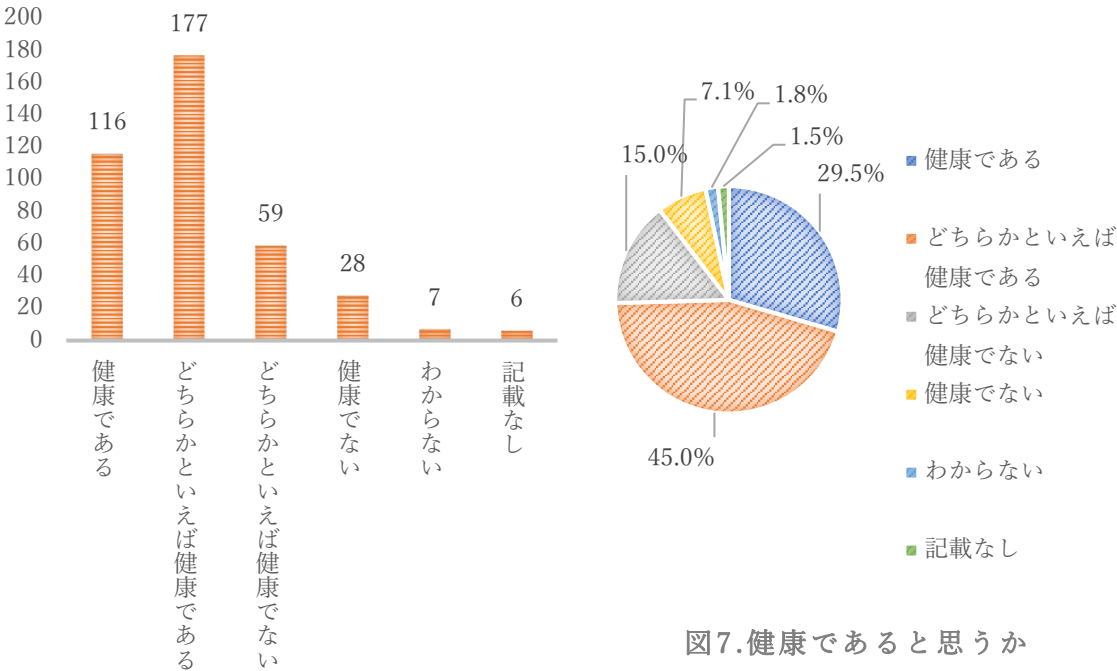


図6.健康であると思うか (人数)

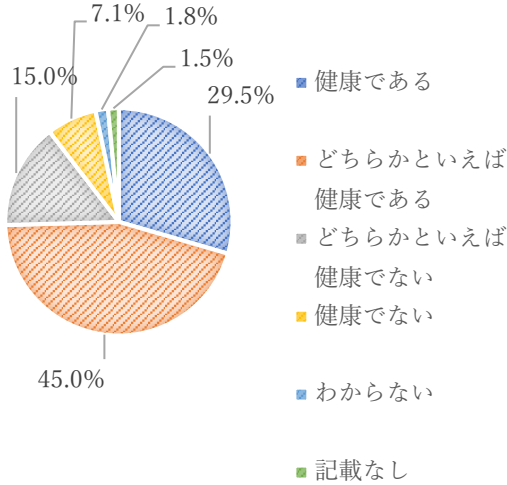


図7.健康であると思うか (%)

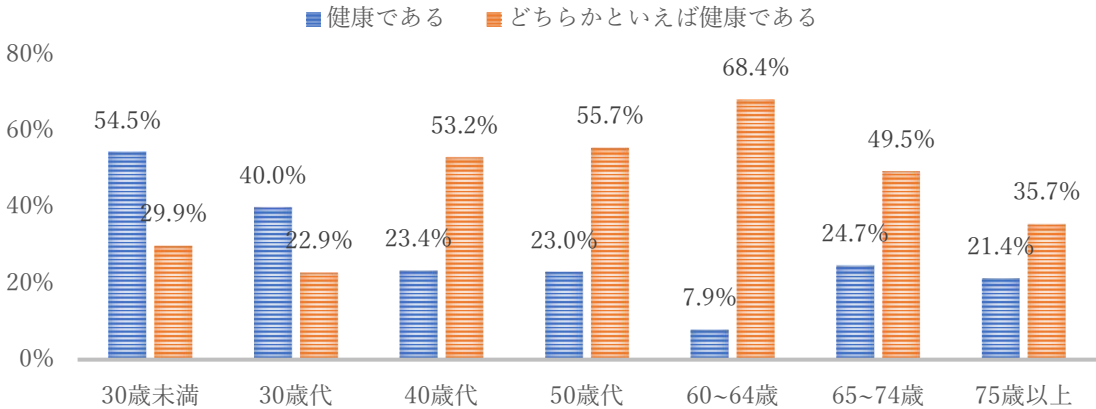


図8.健康であると思うか・年齢別 (%)

(2) 体力に自信があると思うか

年齢別にみると、30歳未満では「体力に自信がある」が「体力に自信がない」を上回っていますが、その他の全ての年代では下回っています。

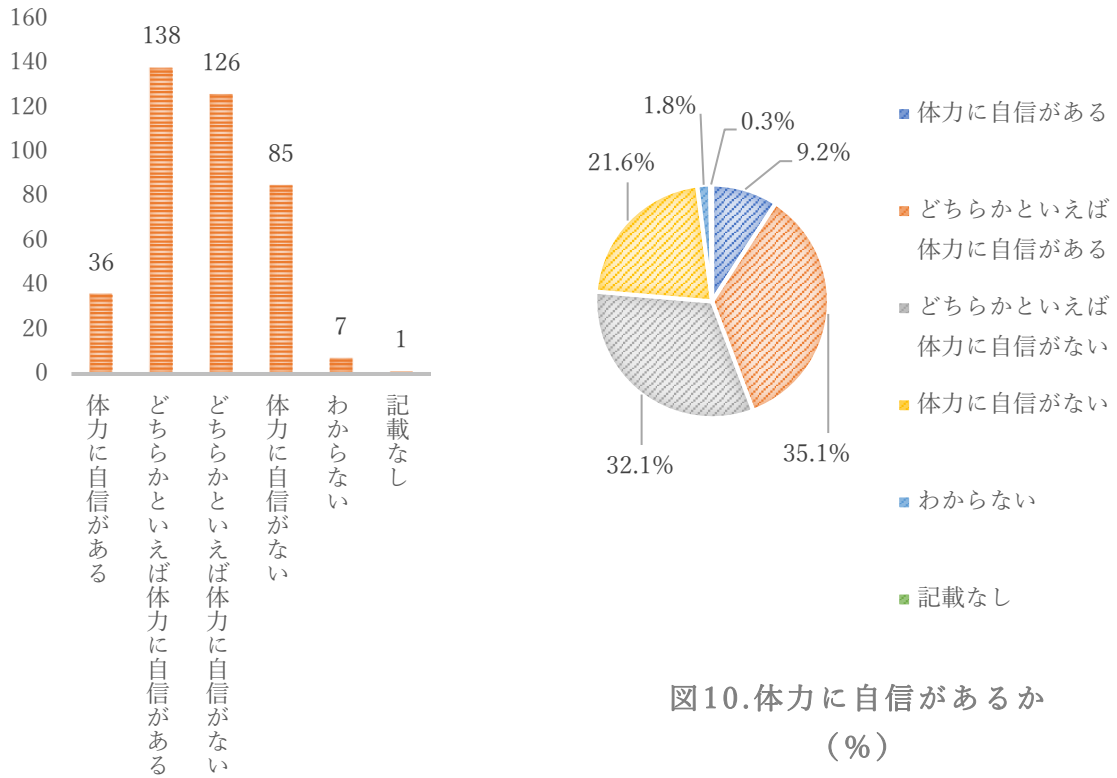


図9.体力に自信があるか
(人数)

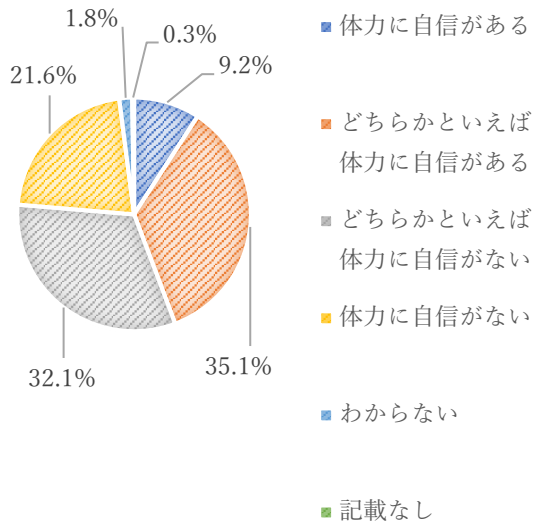


図10.体力に自信があるか
(%)

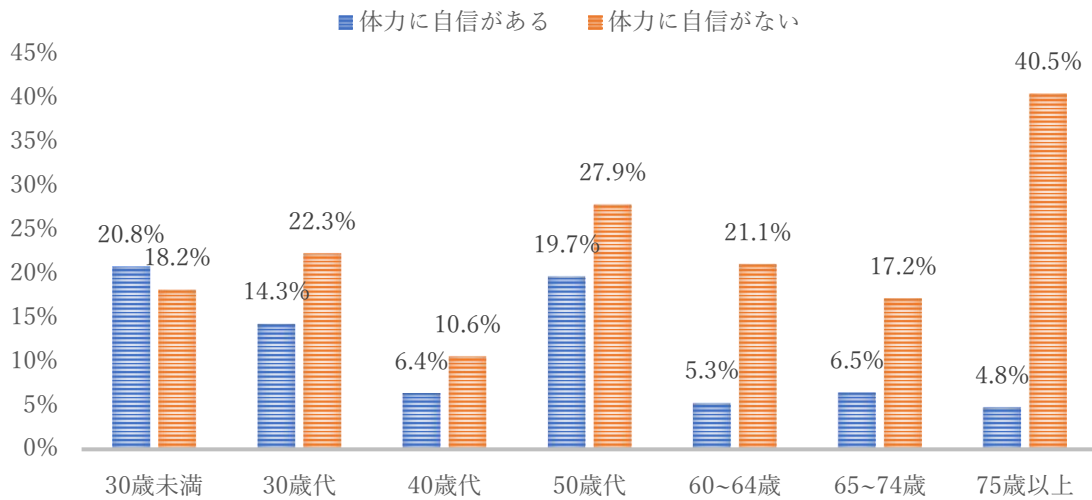


図11.体力に自信があるか・年齢別 (%)

(3) 運動不足を感じているか

運動不足を「大いに感じている」、「ある程度感じている」の合計が 73.2%となっており、全体の 4 分の 3 が運動不足を感じています。年齢別では、30 歳代、5, 60 歳代が最も高く、約 4 割以上が運動不足を感じています。その他の年齢層では約 3 割以下と低くなっています。

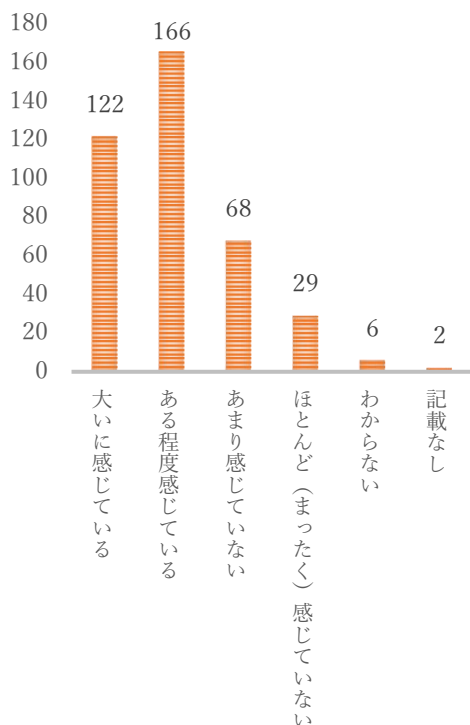


図12. 運動不足を感じているか
(人数)

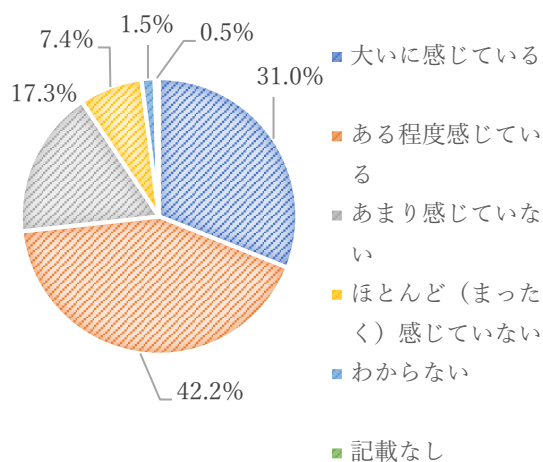


図13. 運動不足を感じているか
(%)

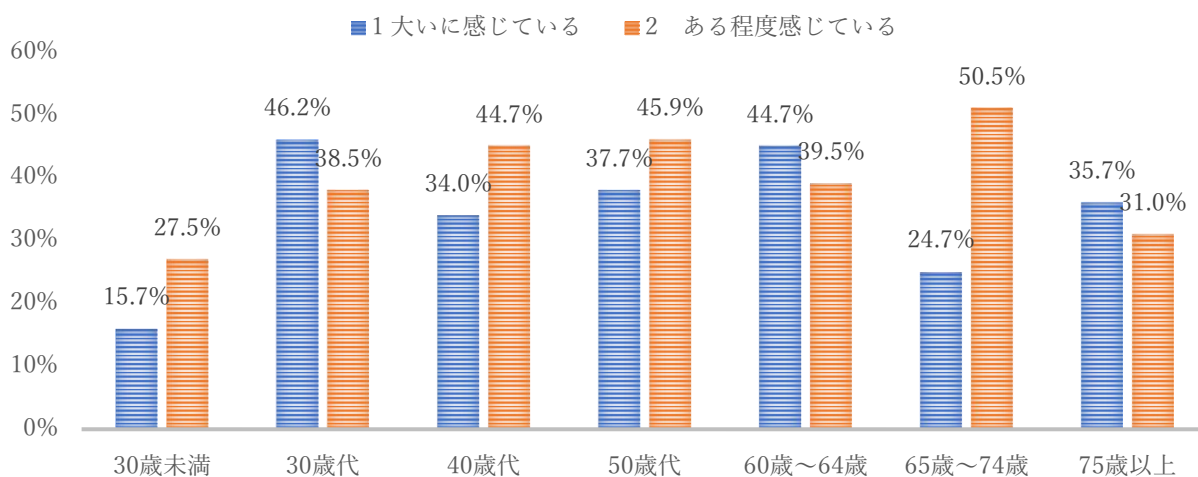


図14. 運動不足を感じているか・年齢別 (%)

(4) 新型コロナウイルス流行前に比べて運動不足を感じているか
 運動不足を「大いに感じている」、「ある程度感じている」の合計が 39.9%となっており、全体の 5 分の 2 が新型コロナウイルス流行前に比べて運動不足を感じています。年齢別では、60～64 歳が最も割合が高く、約 5 割が運動不足を感じている。

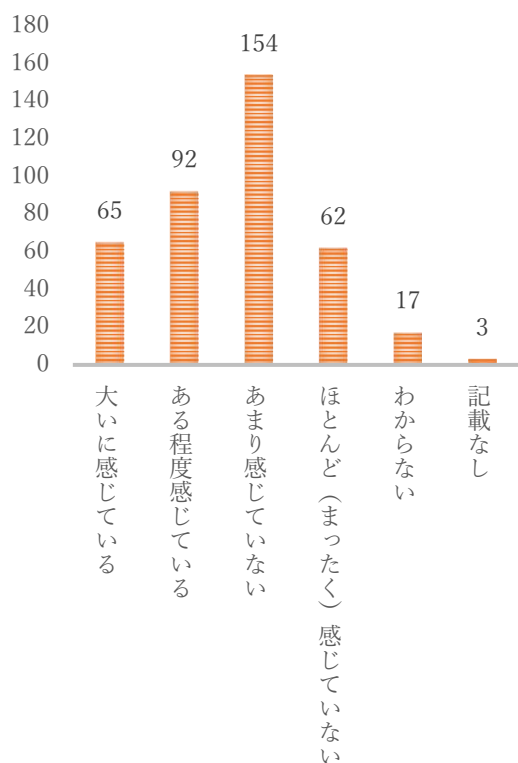


図15.運動不足を感じているか
(人数)

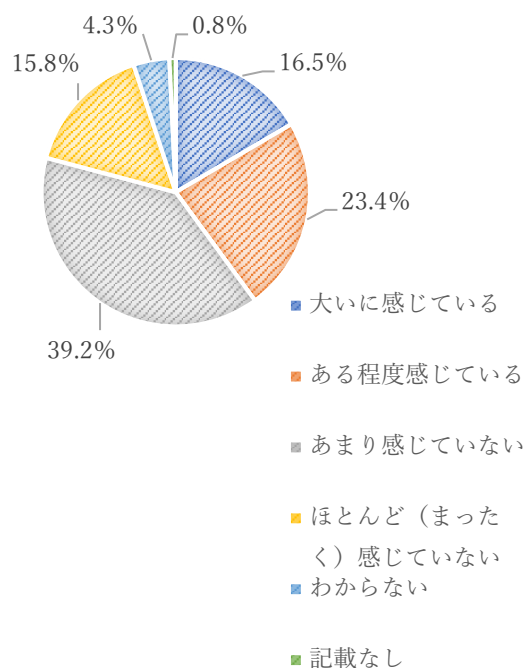


図16.運動不足を感じているか
(%)

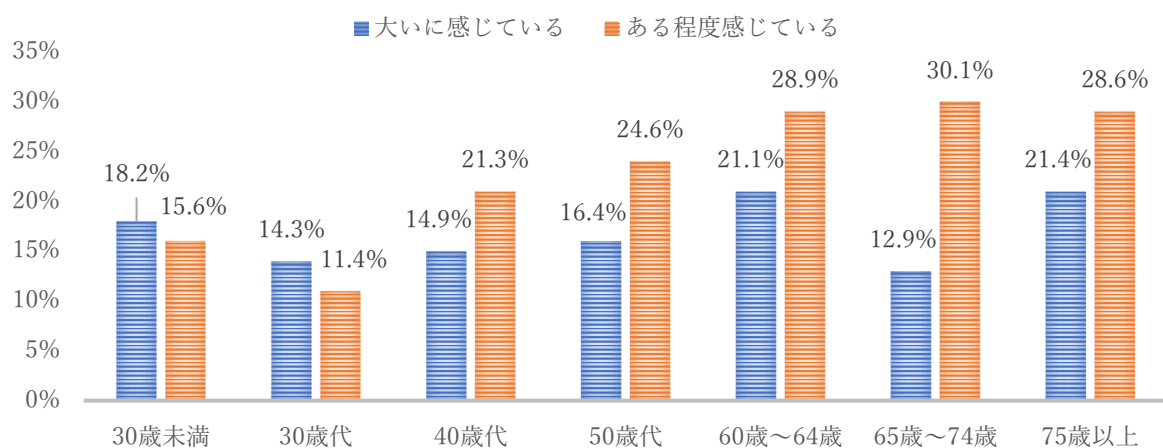


図17.運動不足を感じているか・年齢別 (%)

運動・スポーツの好き嫌い

(1) 運動・スポーツをすることは好きか

運動・スポーツをすることは「好き」が 23.2%、「どちらかといえば好き」が 39.7%となっており、回答者の 62.9%がスポーツをすることは好きであると答えています。年齢別にみると、30 歳未満の 32.5%が「好き」と回答しているが、64 歳～74 歳では 12.9%となっており、最も低くなっています。

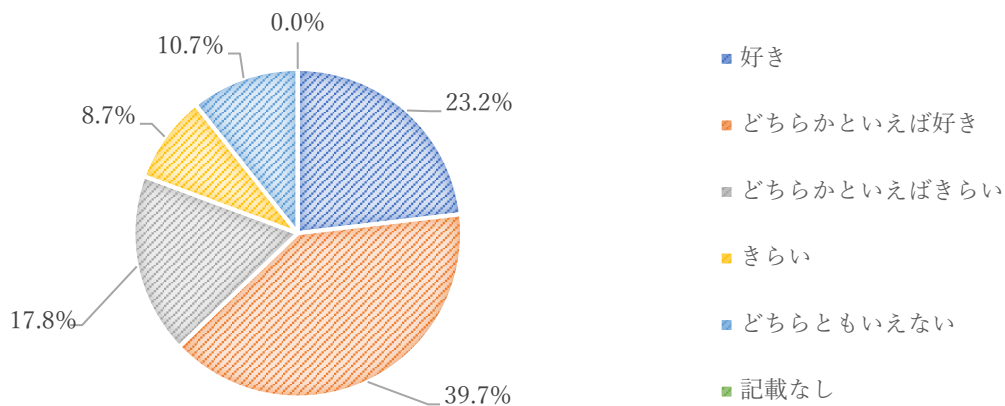


図18.運動・スポーツをすることは好きか (%)

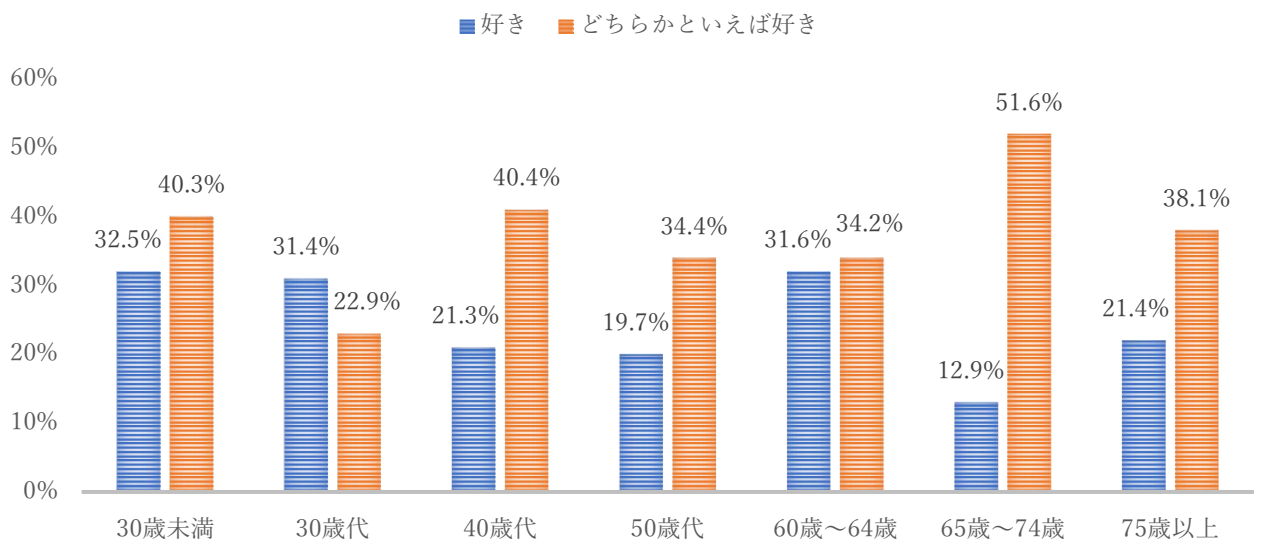


図19.運動・スポーツをすることは好きか・年齢別 (%)

(2) 運動・スポーツを観ることは好きか

運動・スポーツを観ることは「好き」が 42.0%、「どちらかといえば好き」が 35.4%となっており、回答者の 77.4%がスポーツを観ることは好きであると答えています。年齢別にみると、30 歳代以外の全ての年齢層で 3 人に 1 人以上が「好き」と回答しています。また、(1)の結果と比較すると、40 歳代以降はスポーツをすることよりも観ることが好きな傾向にあると考えられます。

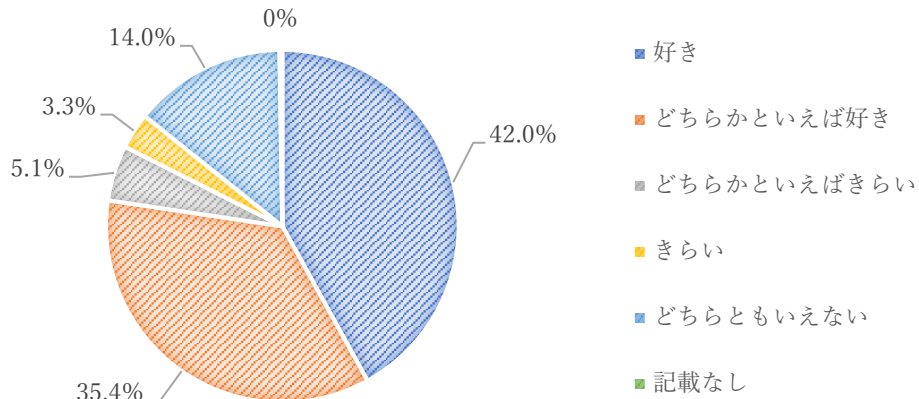


図20.運動・スポーツを観ることは好きか (%)

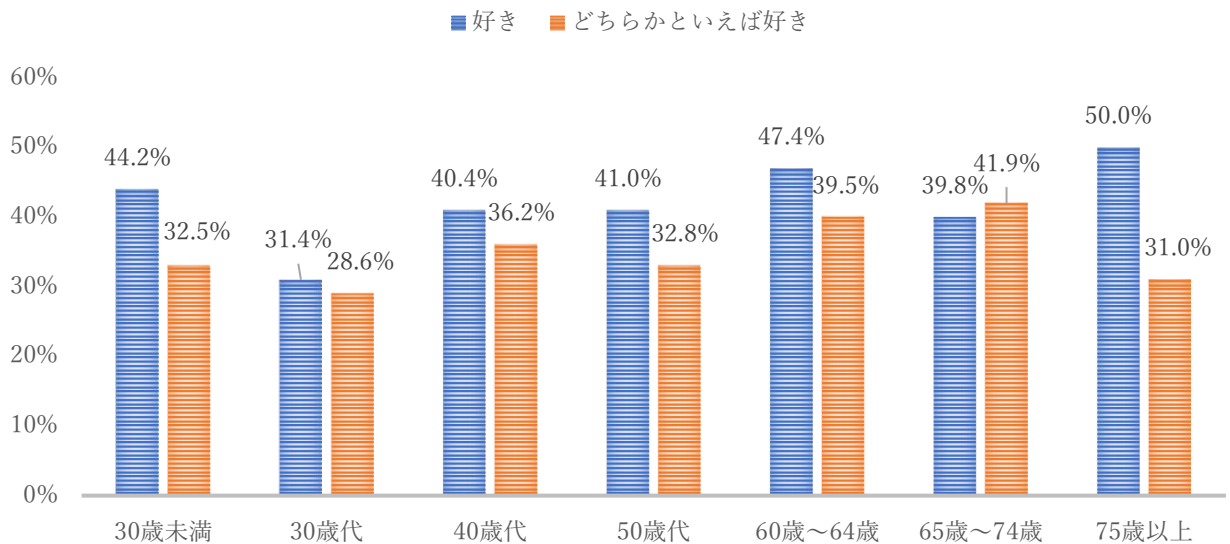


図21.運動・スポーツを観ることは好きか・年齢別 (%)

スポーツの実施状況

(1) 過去1年間にスポーツを行ったか

過去1年間にスポーツを「行った」が73.8%、「行っていない」が23.7%となっており、回答者の過半数が過去1年間にスポーツを行っています。年齢別に見ると、30歳代では、「行った」が9割前後を占めています。60歳以上では「行っていない」が3割を占めています。

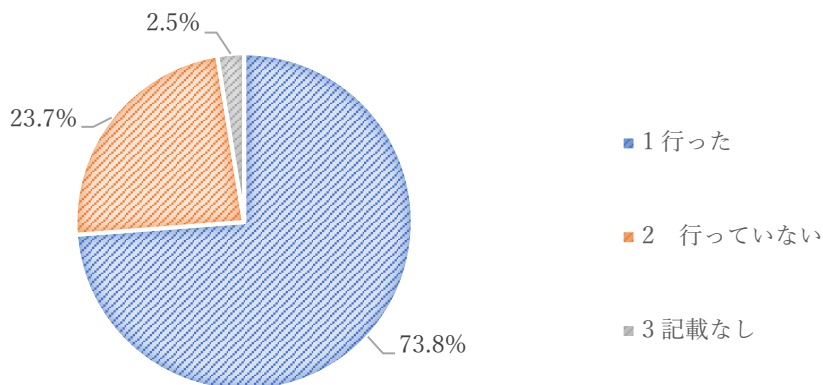


図22.過去1年間にスポーツを行ったか (%)

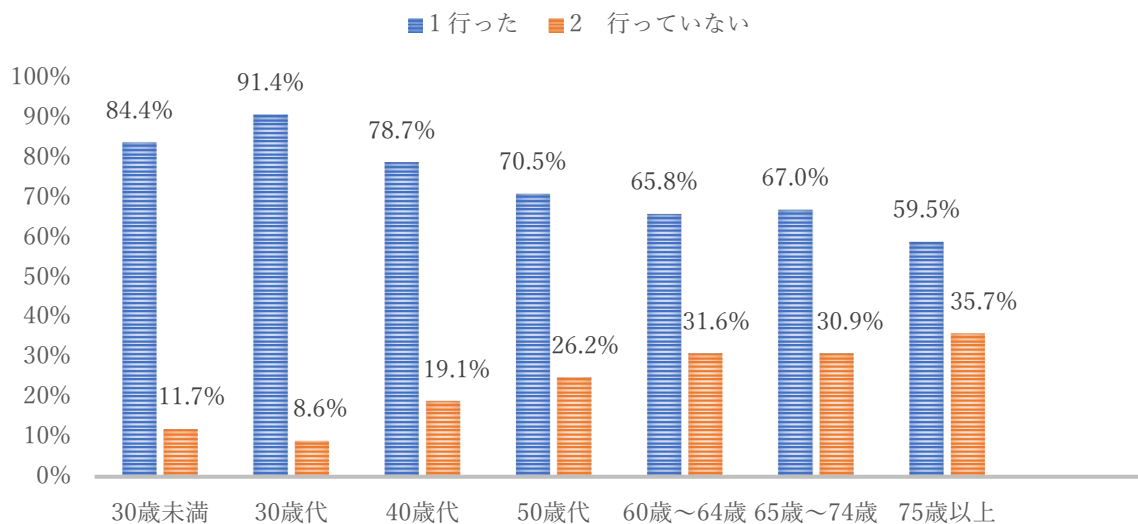


図23.過去1年間にスポーツを行ったか・年齢別 (%)

(2) 現在行っているものも含め、これから行ってみたいと思うスポーツはあるか

現在行っているものも含め、これから行ってみたいと思うスポーツが「ある」が 62.8%、「行いたいものはない」が 22.6%となっており、スポーツに対して意欲的な姿勢が多く見られます。年齢別にみると、75 歳以上が 40.5%で最も低く、次いで 65 歳～74 歳が 59.1%となっています。一方で 30 歳未満、30 歳代は約 7割と高くなっています。

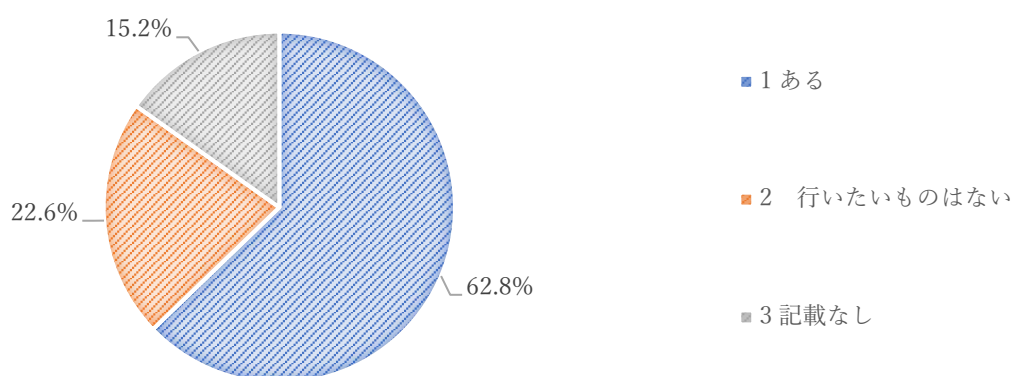


図24.これから行ってみたいスポーツはあるか (%)

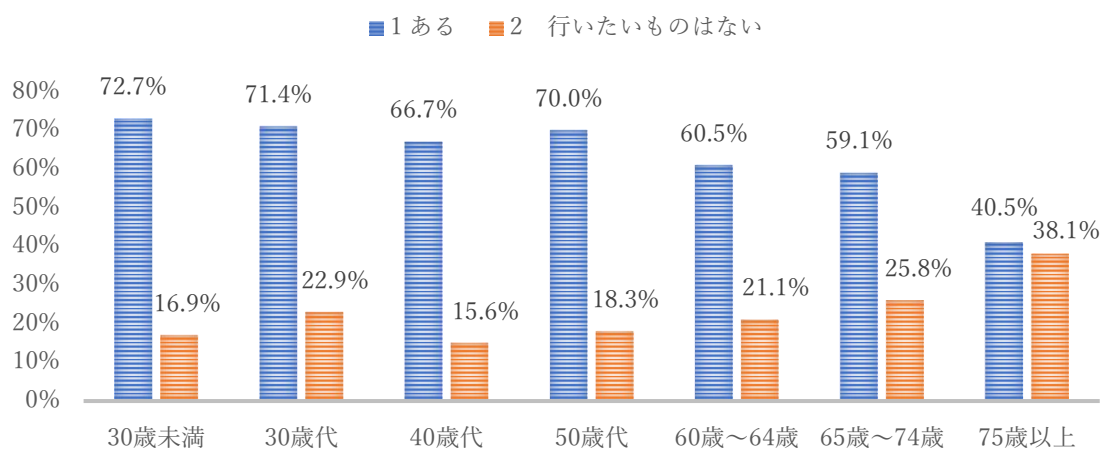
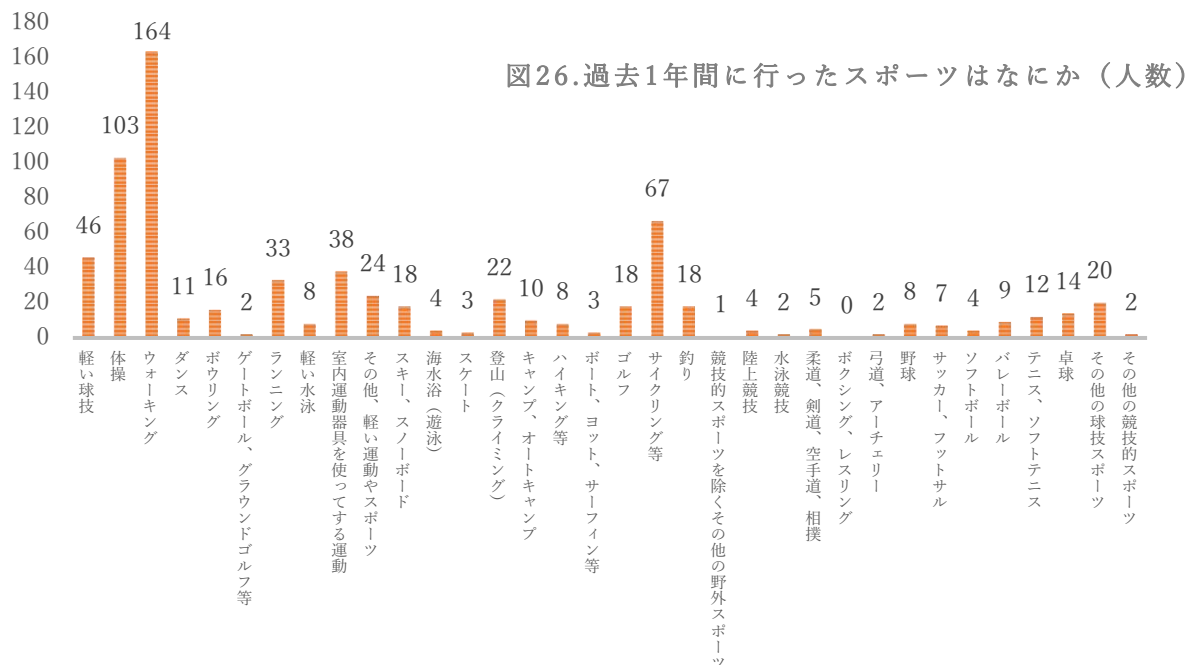


図25.これから行ってみたいスポーツはあるか・年齢別 (%)

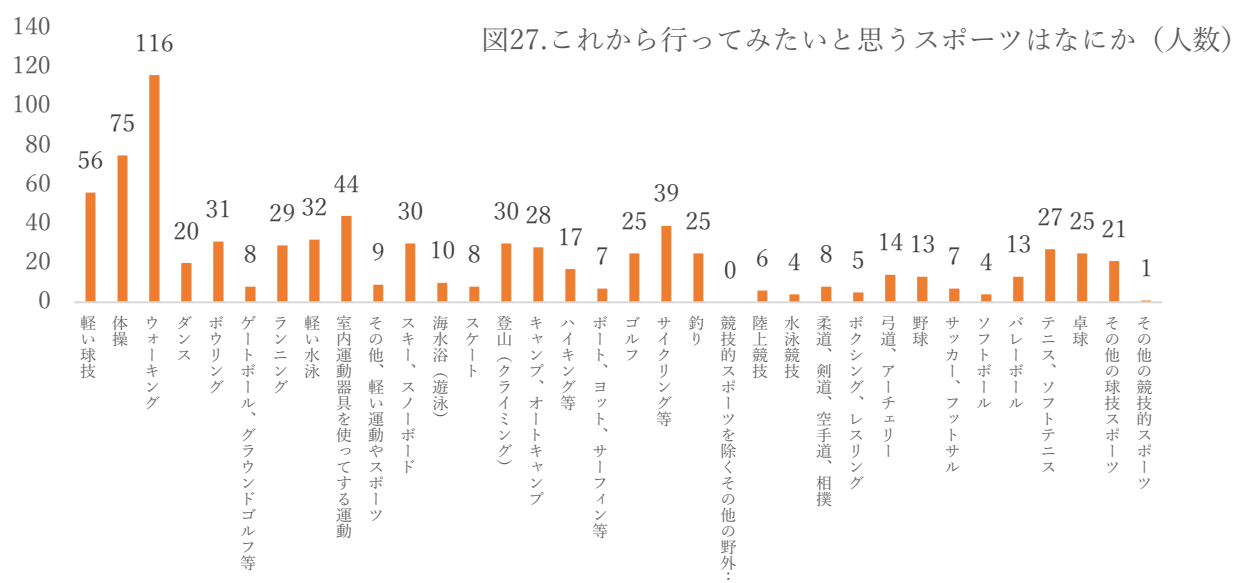
(3) 過去1年間に行ったスポーツ(運動)はなにか

「ウォーキング」(164)を行ったとの回答が最も多く、次いで「体操」(103)、「サイクリング等」(67)の順になっています。



(4) これから行ってみたいと思うスポーツはなにか

「ウォーキング」(116)を今後行ってみたいとの回答が最も多く、次いで「体操」(75)、「軽い球技」(56)の順になっています。



(5) 運動・スポーツを行った日数

運動・スポーツを行った日数としては、「週に3日以上」及び「週に1~2日」が過半数を占めており、定期的にスポーツをする人の割合が高いことがわかります。

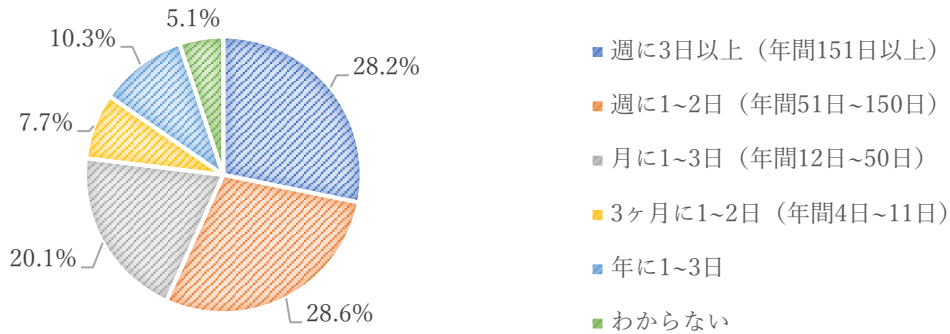


図28.運動・スポーツを行なった日数 (%)

(5-1) 新型コロナウイルス感染症が流行する前後の運動・スポーツを行なった日数の変化。

新型コロナウイルス感染症の流行により、「増えた」が12.6%、「減った」が23.8%となっており、それぞれ全体の4人に1人以下の割合となっています。一方で、「変わらない」は63.6%となっており、回答者の過半数は運動・スポーツを行なった日数に変化がないと答えています。

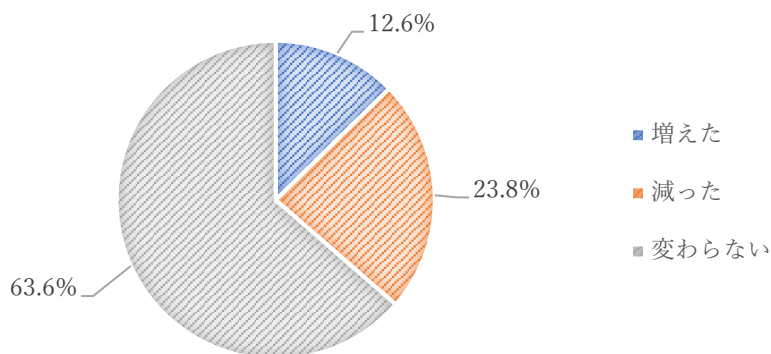
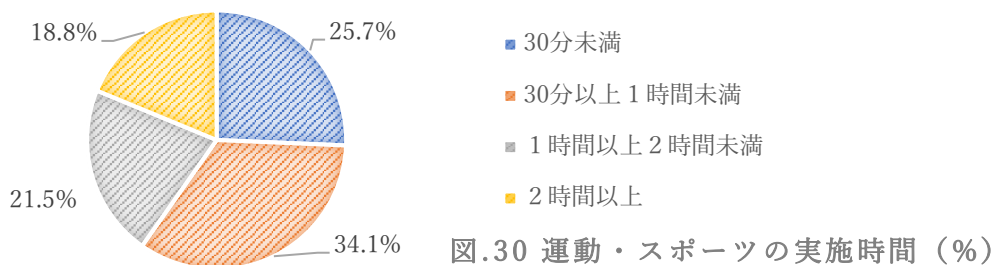


図29.新型コロナウイルス感染症の流行前後の運動・スポーツを行なった日数の変化 (%)

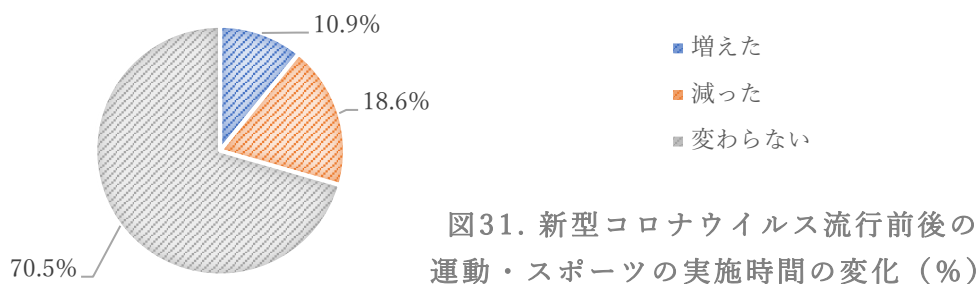
(6) 運動・スポーツの実施時間

運動やスポーツの実施時間としては、「30分未満」が25.7%、「30分以上1時間未満」が34.1%であり、過半数が平均1時間を超える運動は行っていません。



(6-1) 新型コロナウイルス感染症が流行する前後の運動・スポーツの実施時間の変化。

新型コロナウイルス感染症の流行により、「増えた」が10.9%、「減った」が18.6%となっており、それぞれ全体の5人に1人以下の割合となっています。一方で、「変わらない」は70.5%となっており、回答者の3分の2が運動・スポーツの実施時間に変化がないと答えています。



(7) 運動やスポーツを行なった場所はどこか

運動を行なった場所としては、「一般道、サイクリングロード等」(109)が最も多く、次いで「自宅」(94)、「公共施設」(66)となっています。

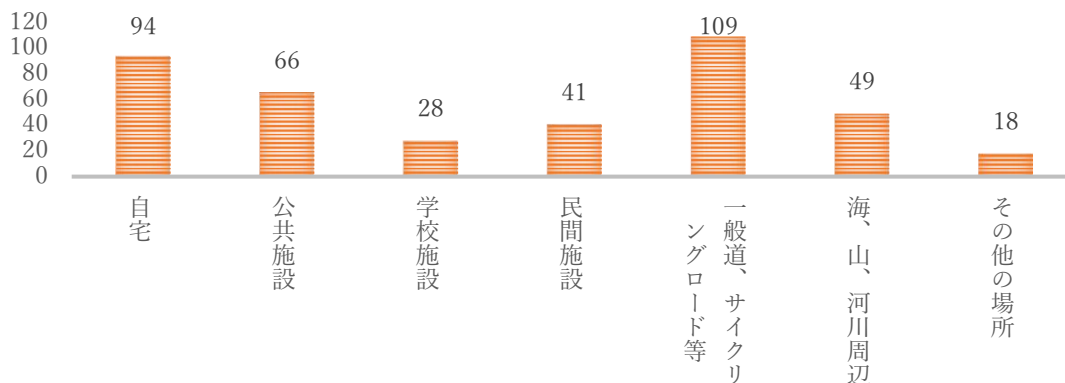


図32. 運動やスポーツを行なった場所はどこか (人数)

(8) 運動やスポーツを行っている理由

理由としては、「健康・体力づくりのため」(165)が最も多く、次いで「楽しみ・気晴らしのため」(139)、「運動不足を感じるから」(124)の順になっています。年齢別にみると、30歳未満の若い世代では、「楽しみ、気晴らしのため」が「健康、体力づくりのため」を上回っていますが、50歳代以降の全ての年代では、「健康、体力づくりのため」が上回り、年代によって運動を行う目的の違いがあることがわかります。

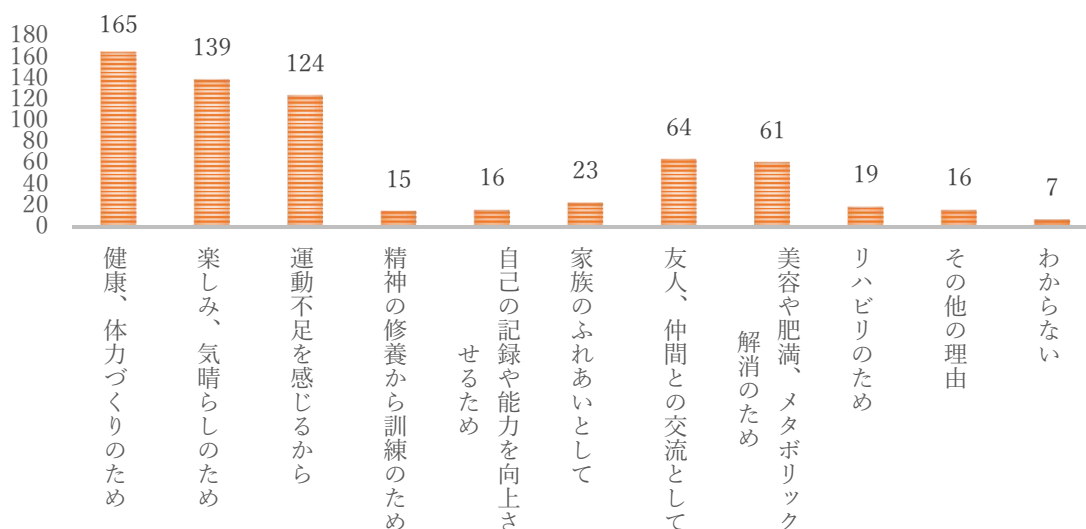


図33. 運動やスポーツを行っている理由（人数）

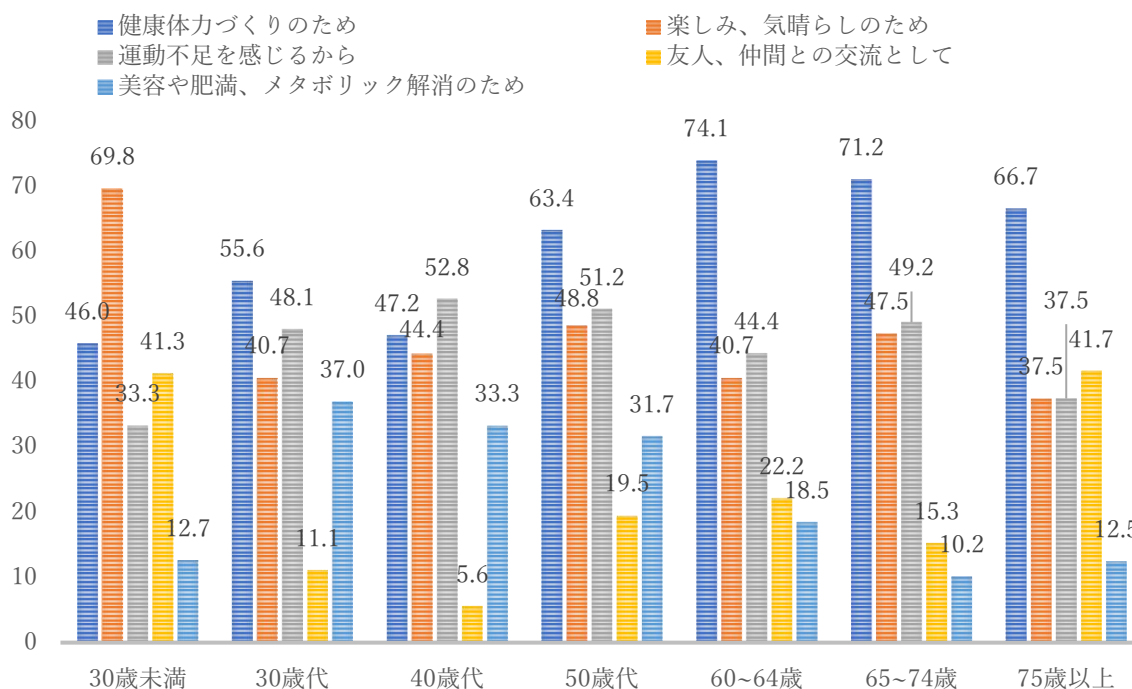


図34. 運動やスポーツを行っている理由・年齢別（％）

(9) どのような点が変われば、運動やスポーツを行うようになるか

「休暇が増えれば」(104)が最も多く、次いで「近所など通いやすい場所でできれば」(91)、「利用料金や参加料金が安くなれば」(86)の順になっています。年齢別にみると、30歳代、40歳代、50歳代では、「休暇が増えれば」が最も多く、65歳以上では「近所など通いやすい場所でできれば」が最も多くなっている。このことから、地域単位での取組が望まれます。

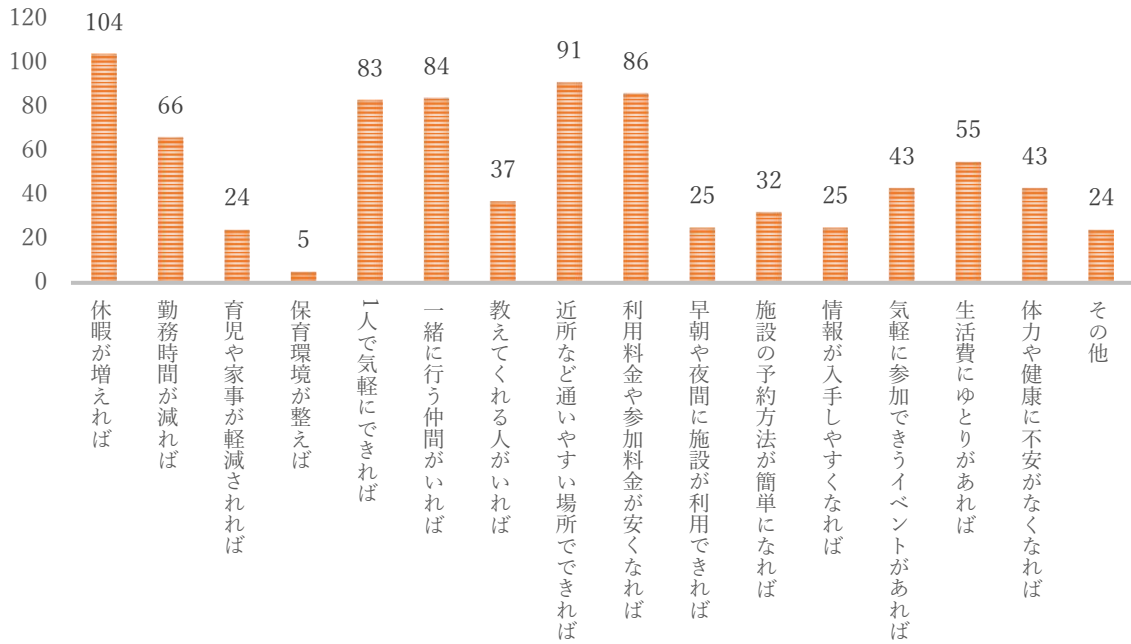


図35.どのような点が変われば、運動やスポーツを行うようになるか（人数）

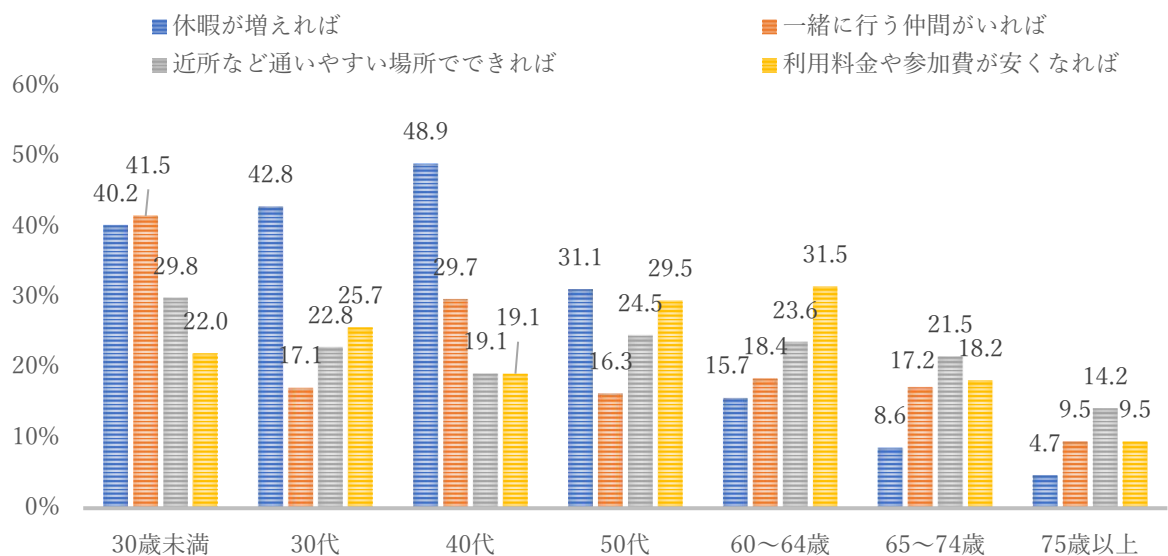


図36.どのような点が変われば、運動やスポーツを行うようになるか・年齢別（人数）

(10) 運動やスポーツを全くしなかった理由

理由としては、「仕事(家事・育児含む)が忙しくて時間がない」(54)が最も多く、次いで「年をとったから」(32)、「お金がかかるから」(29)の順になっています。年齢別にみると、30歳未満～64歳の年代で、「仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから」が最も多くなっています。65歳以上では、「年をとったから」が最も多くなっています。昨今のライフスタイルやニーズの多様化による「スポーツ離れ」が影響していると考えられます。

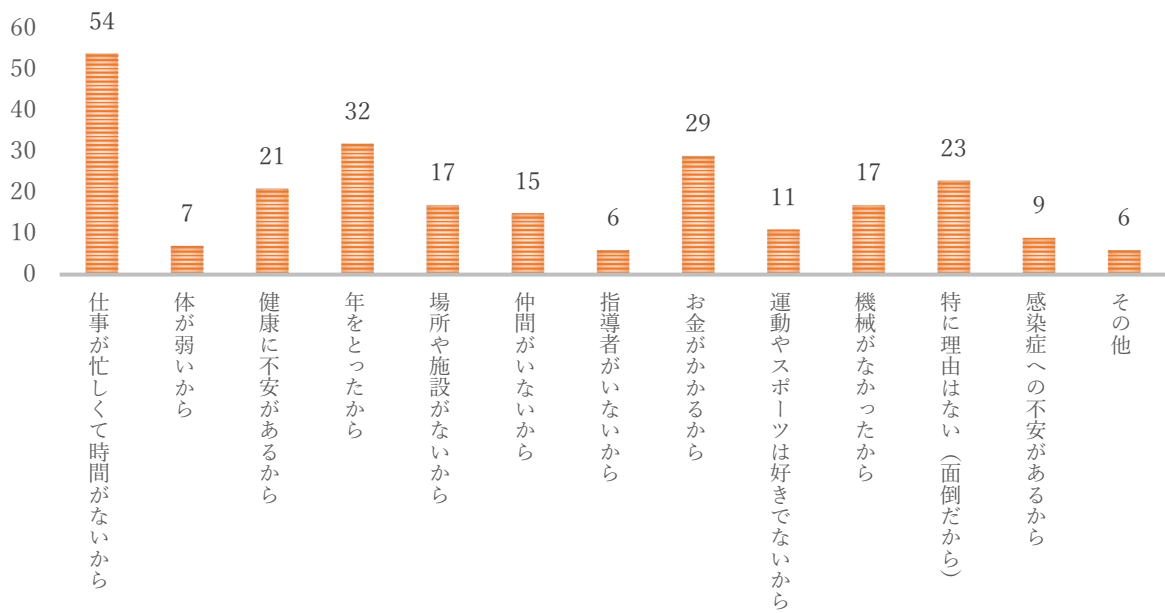


図37.運動やスポーツを全くしなかった理由(人数)

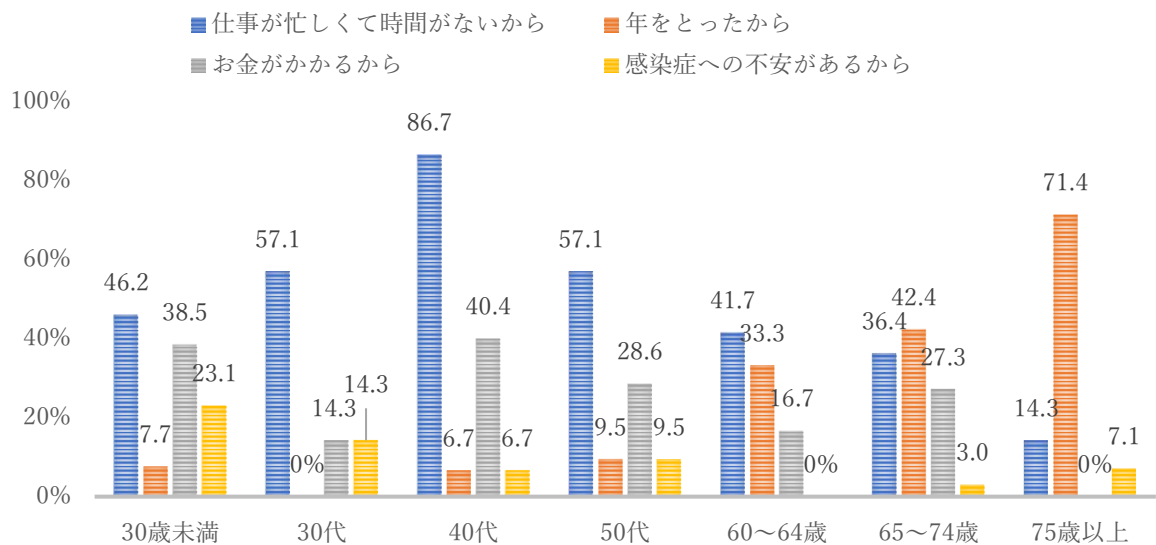


図38.運動やスポーツを全くしなかった理由・年齢別(%)

(11) 運動やスポーツが気軽にできる環境か

運動やスポーツが気軽にできる環境では「どちらかというと思う」(102)が最も多く、次いで「どちらかというと思わない」(79)、「思う」(45)の順になっています。

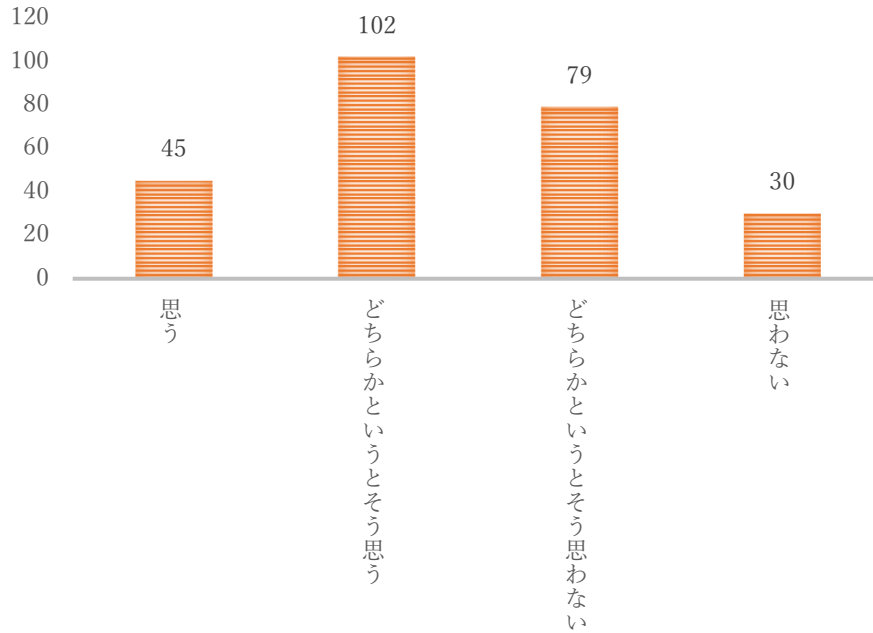


図.39 運動やスポーツが気軽にできる環境か (人数)

スポーツイベントについて

(1) 過去1年間に市が主催等しているスポーツイベントに参加したことがあるか
約9割が市主催のスポーツイベントに参加したことがないという結果になっています。

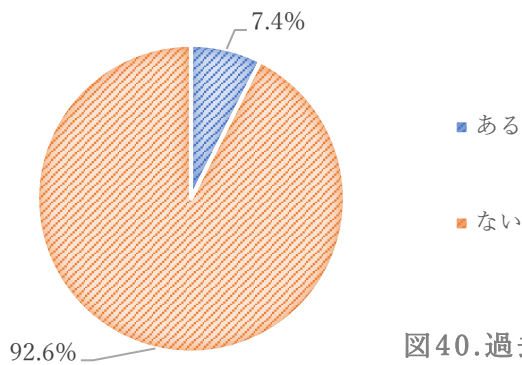


図40. 過去1年間に市が主催等しているスポーツイベントに参加したことがあるか (%)

(2) 過去1年間に参加した市が主催等しているスポーツイベント

具体的なスポーツイベントとしては、「高等学校体育連盟大会」(7)が最も多く、次いで「市民総合スポーツ大会」、ウォークイベントの順になっています。ウォークイベントを積算すると計10の回答数となっています。

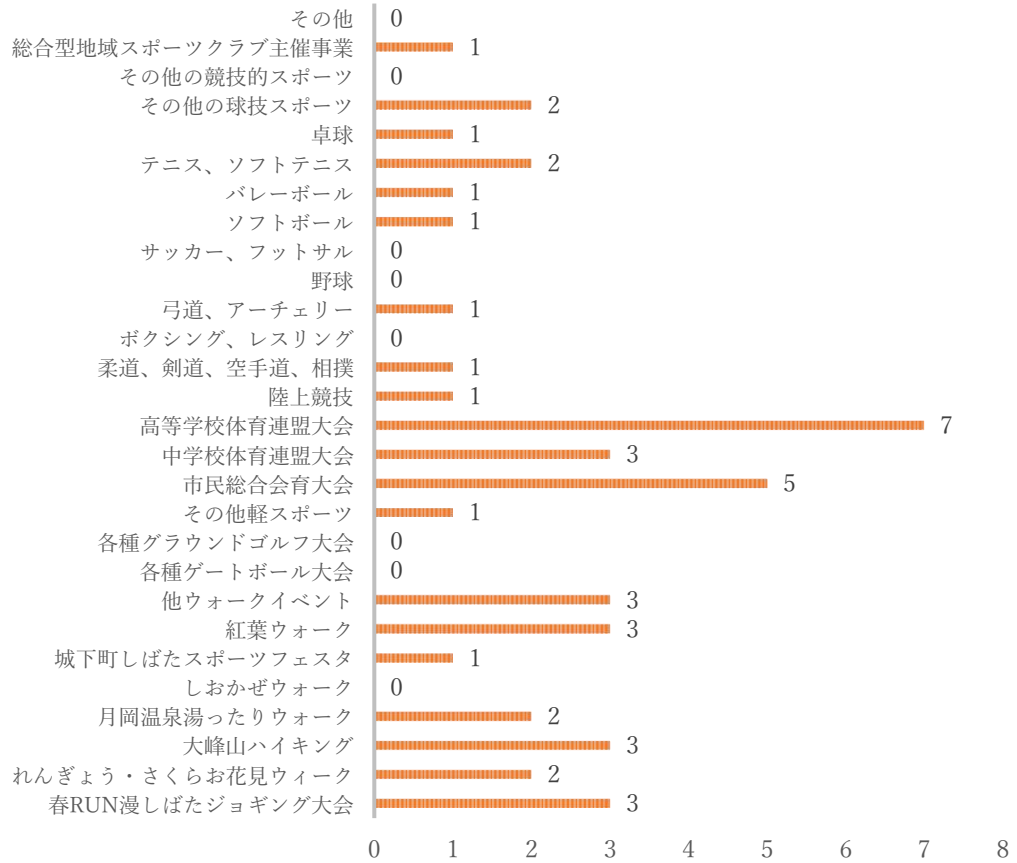


図41.過去1年間に参加した市が主催等しているスポーツイベント（人数）

(3) これから参加してみたいと思う市が主催等しているスポーツイベントはあるか 約8割が「ない」という回答をしており、イベント参加の常態化も考えられません。

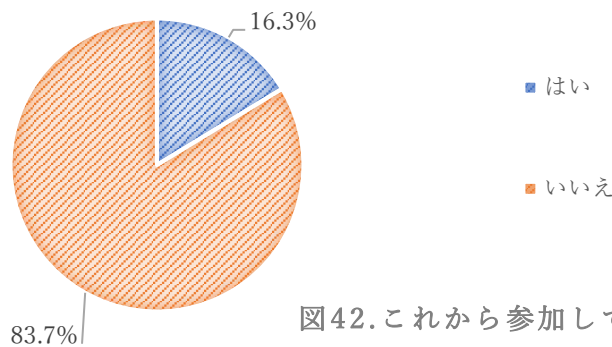


図42.これから参加してみたいと思う市が主催等しているスポーツイベントはあるか（%）

(4) 参加してみたいと思う市が主催等している具体的なスポーツイベント

表 1. 具体的なスポーツイベント

月岡温泉湯ったりウォーク
城下町しばたスポーツフェスタ
紫雲寺地区バレーボール大会
れんぎょう・さくらお花見ウォーク
春 RUN 漫しばたジョギング大会
市民総合スポーツ大会
大峰山ハイキング
紅葉ウォーク

スポーツ施設について

(1) 現在利用している、又は利用したことのある市のスポーツ施設

利用したことのあるスポーツ施設としては、「カルチャーセンター」(171)が最も多く、次いで「サンビレッジしばた」(134)、「利用したことがない」(121)の順になっています。ほかにも、「新発田市民プール」(116)や「五十公野公園陸上競技場」(64)などの回答も多く、新発田駅周辺の利用率が高いことがわかります。理由としては、施設が整備され、幅広い世代の人に利用されやすいことなどが考えられます。

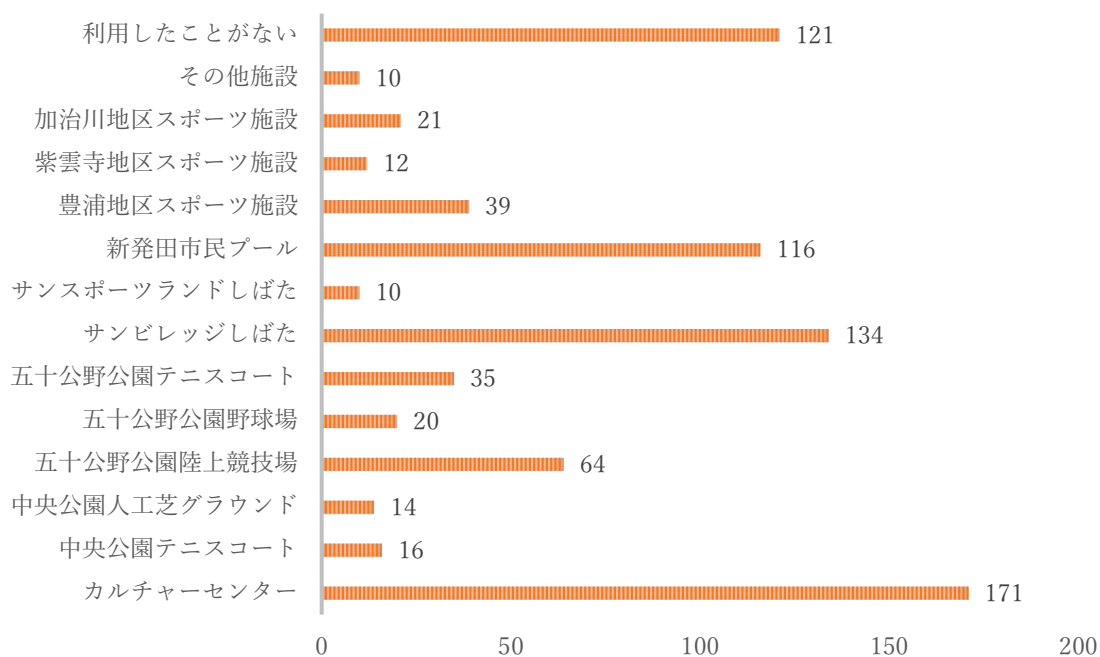


図43. 利用している、又はしたことがある市のスポーツ施設

(2) もっと整備してほしい市のスポーツ施設はあるか

表 2. もっと整備してほしい市のスポーツ施設

市民プール：室内及び温水プールの設置、年中利用できるようにしてほしい
カルチャーセンター：室内の利用環境整備、周辺の防犯対策をしてほしい
サイクリングロード：駐車場を中間地点に設置、道路整備及び休憩場所の設置
五十公野公園：ランニングコースを整備してほしい
サンビレッジしばた：ネット利用ができるようにしてほしい、初心者でも通えるようにトレーナー指導は欲しい
豊浦体育センター：駐車場の電灯を明るくして欲しい
スケートボード：若者が利用できるように空き地を活用して新設して欲しい
大天城公園野球場：観覧席等の整備をして欲しい

障がい者スポーツについて

(1) 障がい者スポーツに関心があるか

「あまり関心がない」(27.7%)、関心がない(13.0%)、「わからない」(17.8%)で合計(58.5%)を占めており、およそ過半数が関心がないようです。年齢別では、30歳未満の「関心がある」が15.9%で最も高くなっていますが、40歳代を除くそれ以外の年齢では10.0%を下回っています。どの年齢層でも、「あまり関心がない」が「関心がある」を上回っており、障がい者スポーツに関心がない傾向にあるといえます。

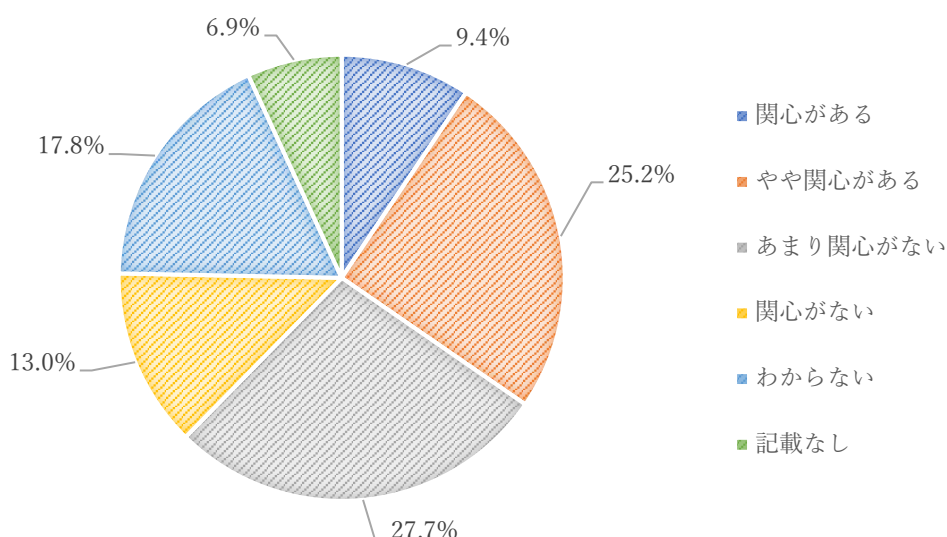


図44. 障がい者スポーツに関心があるか (%)

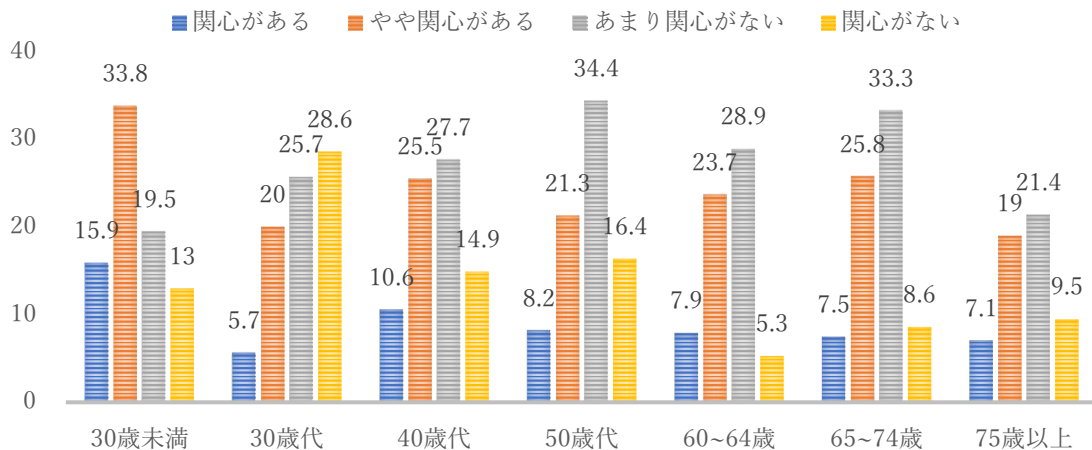


図45. 障がい者スポーツに関心があるか・年齢別 (%)

(2)障がい者スポーツについて、今後どのようなことをしてみたいか

「テレビやパソコンで障がい者スポーツの試合を観戦する」(72)が最も多く、次いで「障がい者スポーツの競技を体験する」(38)、「競技場や体育館などで障がい者スポーツの試合を観戦する」(33)の順になっています。年齢別にみると、全ての年代で「テレビやパソコンで障がい者スポーツの試合を観戦する」が最も多くなっています。また、50歳代では「障がい者スポーツの競技を体験する」も「テレビやパソコンで障がい者スポーツの試合を観戦する」と同数で最も多くなっています。障がい者スポーツについては、先の問いで関心がない傾向にあるとなっていますが、具体的なイメージが浮かぶことで前向きに捉えられることが可能となっています。

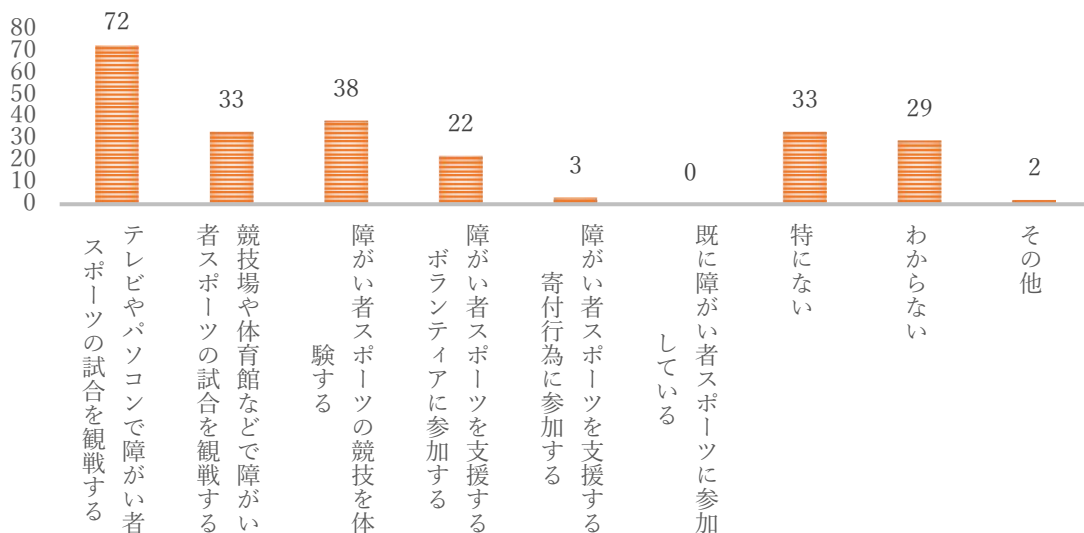


図46. 障がい者スポーツについて、今後どのようなことをしてみたいか (人数)

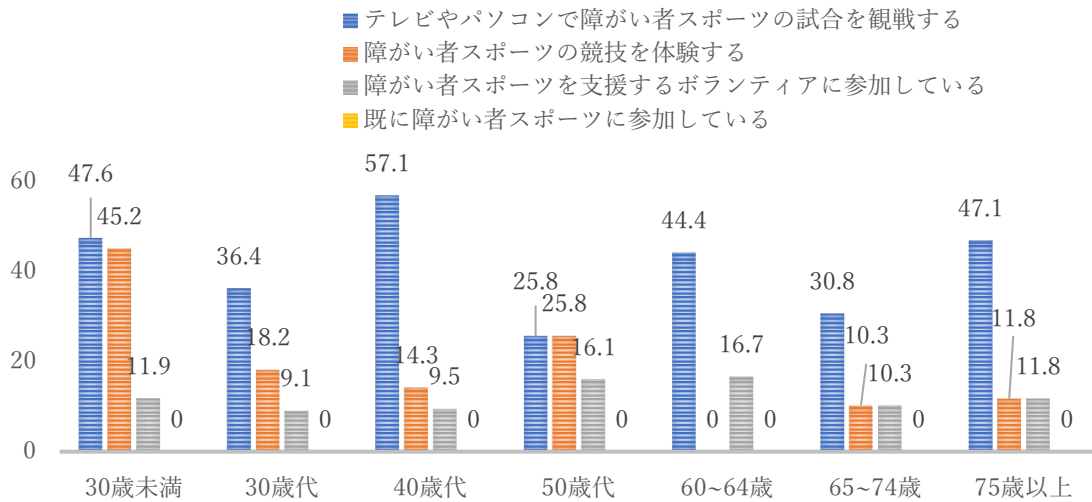


図47. 障がい者スポーツについて、今後どのようなことをしてみたいか・年齢別 (%)

(3) 障がい者スポーツに関心がない理由

「身近に障がい者スポーツに関わっている人がいないから」(137)が最も多く、次いで「どんな選手がいるか知らないから」(69)、「どんな競技があるか知らないから」(66)の順になっています。年齢別にみると、全ての世代で、「身近に障がい者スポーツに関わっている人がいないから」が高い比率を占めています。

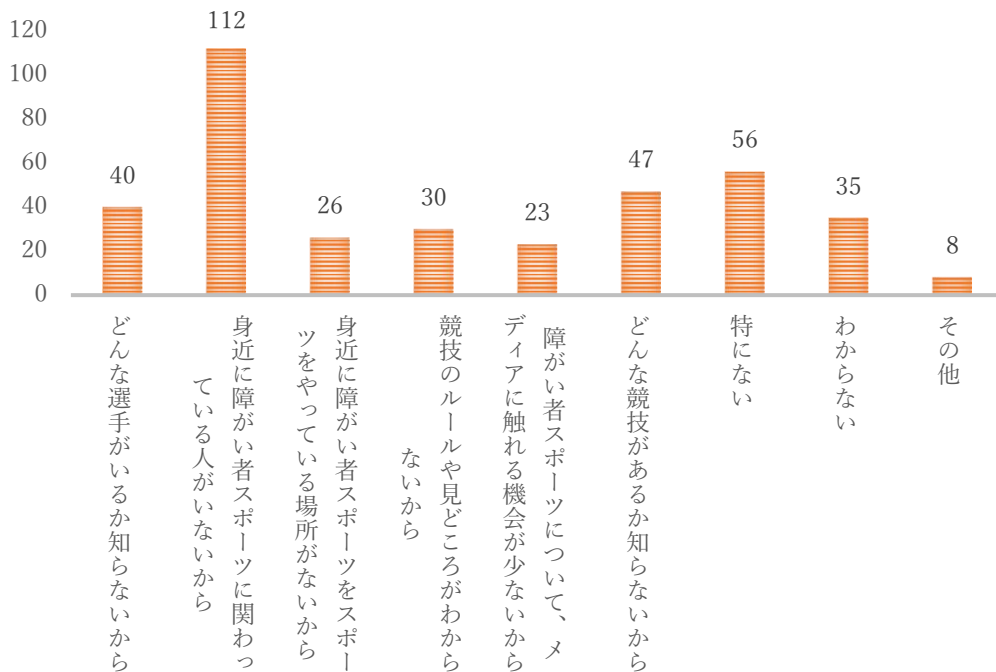


図48. 障がい者スポーツについて、関心がない理由(人数)

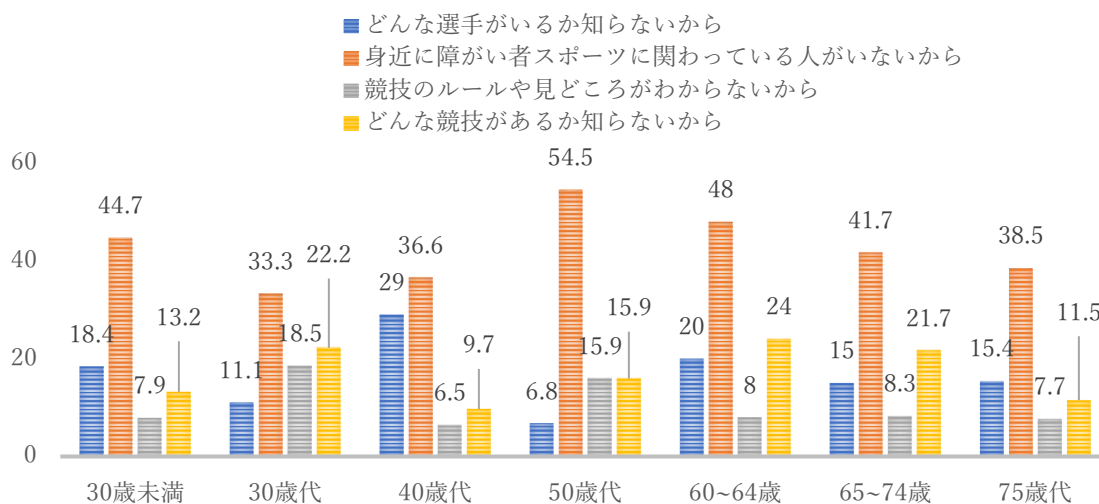


図49. 障がい者スポーツについて、関心がない理由・年齢別（％）

スポーツボランティア活動について

(1) 行ったことがある、または今後行ってみたいスポーツボランティア活動はあるか

「特にない」(306)が最も多く、次いで「スポーツ大会やイベント等の設営、運営などの支援」(27)、「地域のスポーツ団体などの活動支援」(13)の順になっています。スポーツボランティアを経験したことがない人が相当数を占めています。

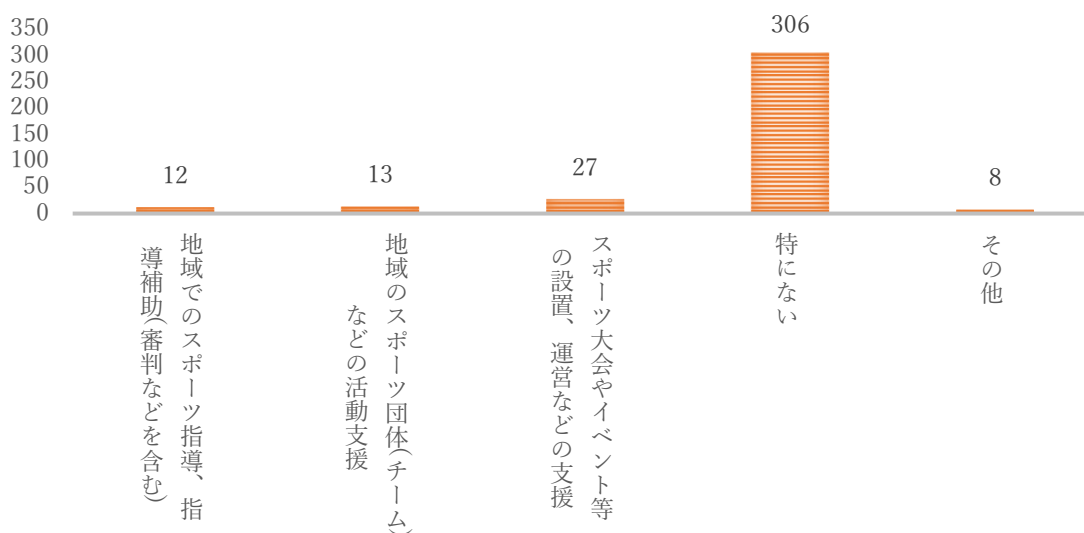


図50. 行ったことがある、または今後行なってみたいスポーツボランティア活動はあるか（人数）

観る・応援するスポーツについて

(1) 新発田市に關係する選手や団体が活躍することに関心があるか

「非常に関心がある」(76)、「やや関心がある」(178)より、総回答数(378)の約67%が関心を示していることがわかります。

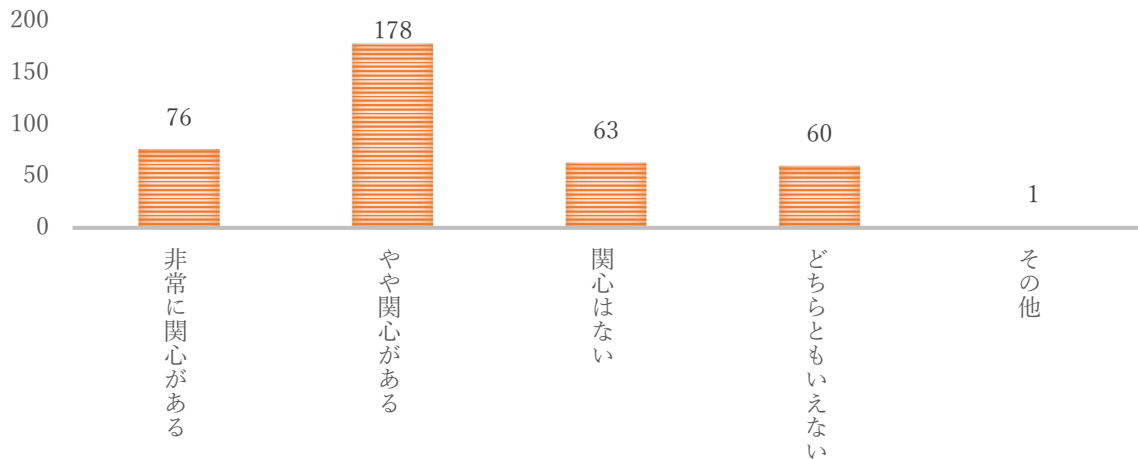


図51.新発田市に關する選手や団体が活躍することに関心があるか(人数)

(2) スポーツをテレビなどのメディアで視聴する時間について、新型コロナウイルス感染症が流行する前に比べて、増えたか

約2割が「増えた」と回答し、約7割が「変わらない」と回答している。年齢別でみると、15-19歳、75歳以上が「増えた」と回答した割合が高く、約3割が「増えた」と回答している。

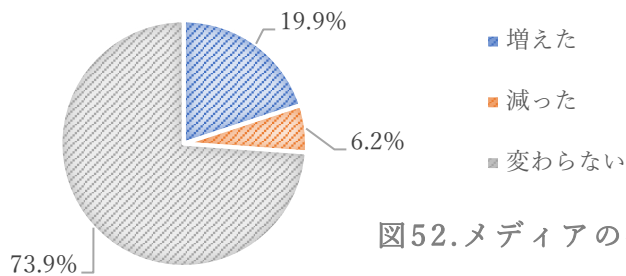


図52.メディアの視聴時間は増えたか(%)

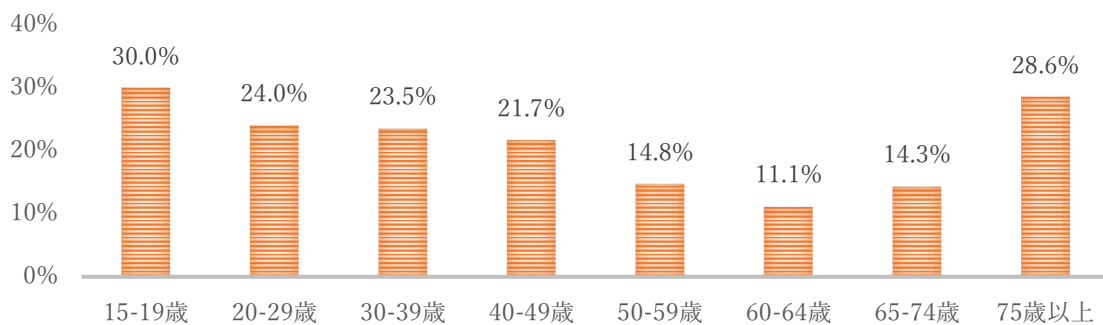


図53.メディアの視聴時間は増えたか・年齢別(%)

スポーツ振興策について

(1) 地域におけるスポーツ振興策に求められるものは何か

「高齢者の生きがいがづくり」(170)が最も多く、次いで「スポーツ施設の有効活用」(149)、「子どもの体力づくり」(117)の順になっています。年齢別にみると、40歳代以下では、「スポーツ施設の有効活用」が約4割以上を占めていますが、50歳代以降は「高齢者の生きがいがづくり」が約4割以上を占めており、高齢化率の上昇とともにニーズの変化により求めるものが多様化していると考えられます。

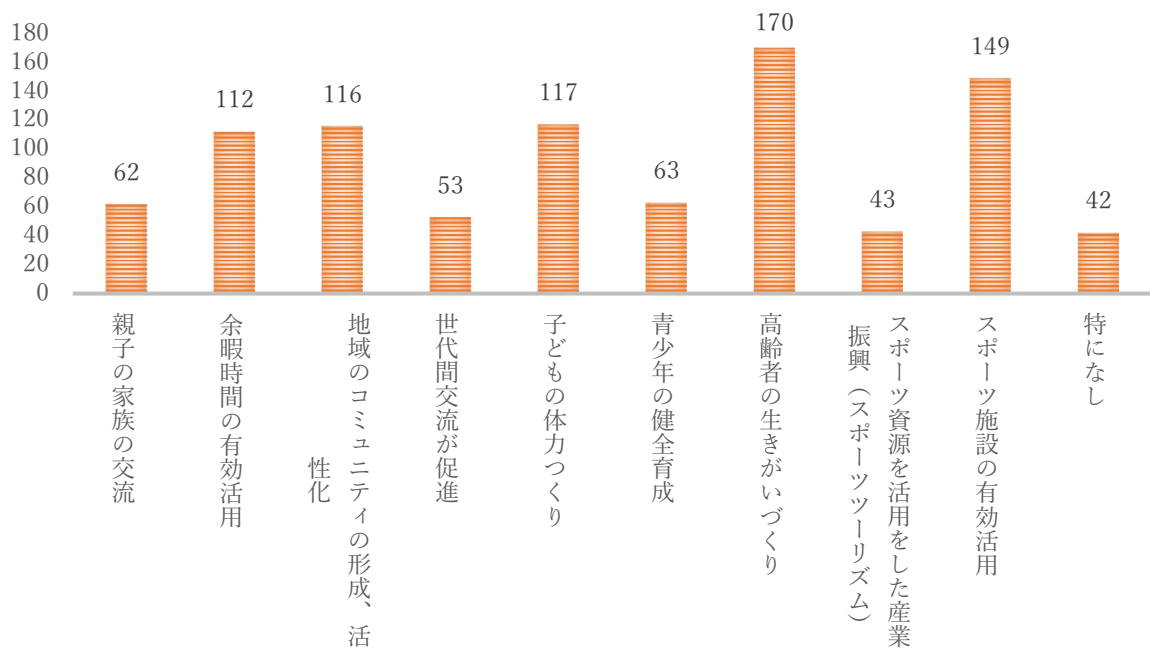


図54. 地域におけるスポーツ振興策に求められるものは何か (人数)

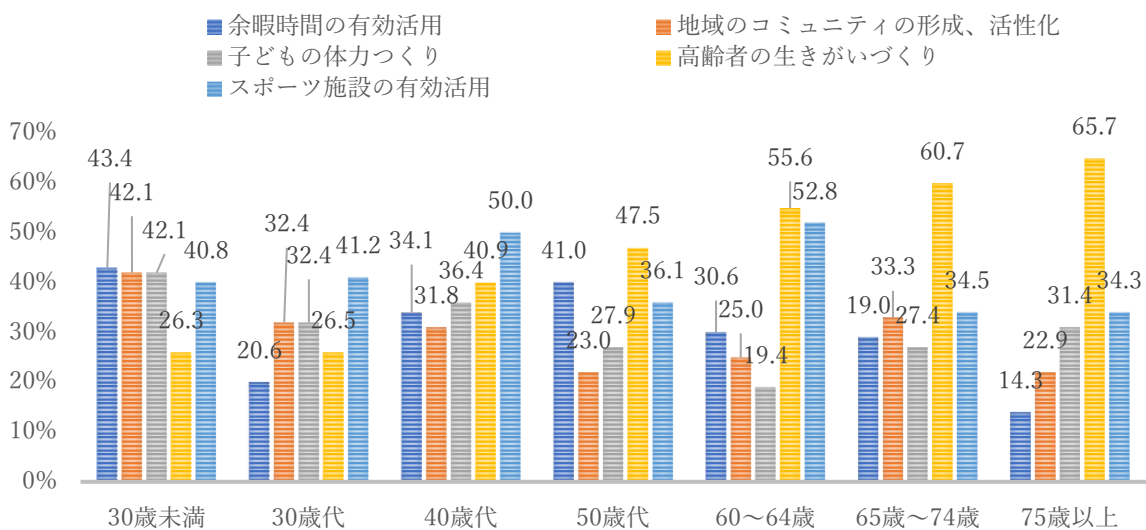


図55. 地域におけるスポーツ振興策に求められるものは何か・年齢別 (%)

(2) スポーツ振興策として具体的に力を入れてほしいこと

「いつでも、どこでも、誰もが気軽にスポーツ活動に親しめる環境整備」(229)が最も多く、次いで「幼児から高齢者、障がい者に応じた多様なスポーツ種目の教室やイベント等の充実」(111)、「冬期間のスポーツ環境の充実」(100)の順になっています。年齢別にみると、あらゆる年代で「いつでも、どこでも、誰もが気軽にスポーツ活動に親しめる環境整備」が過半数を占めていることから、参加したいと思わせるイベントの実施や計画的な施設整備が必要だと考えられます。

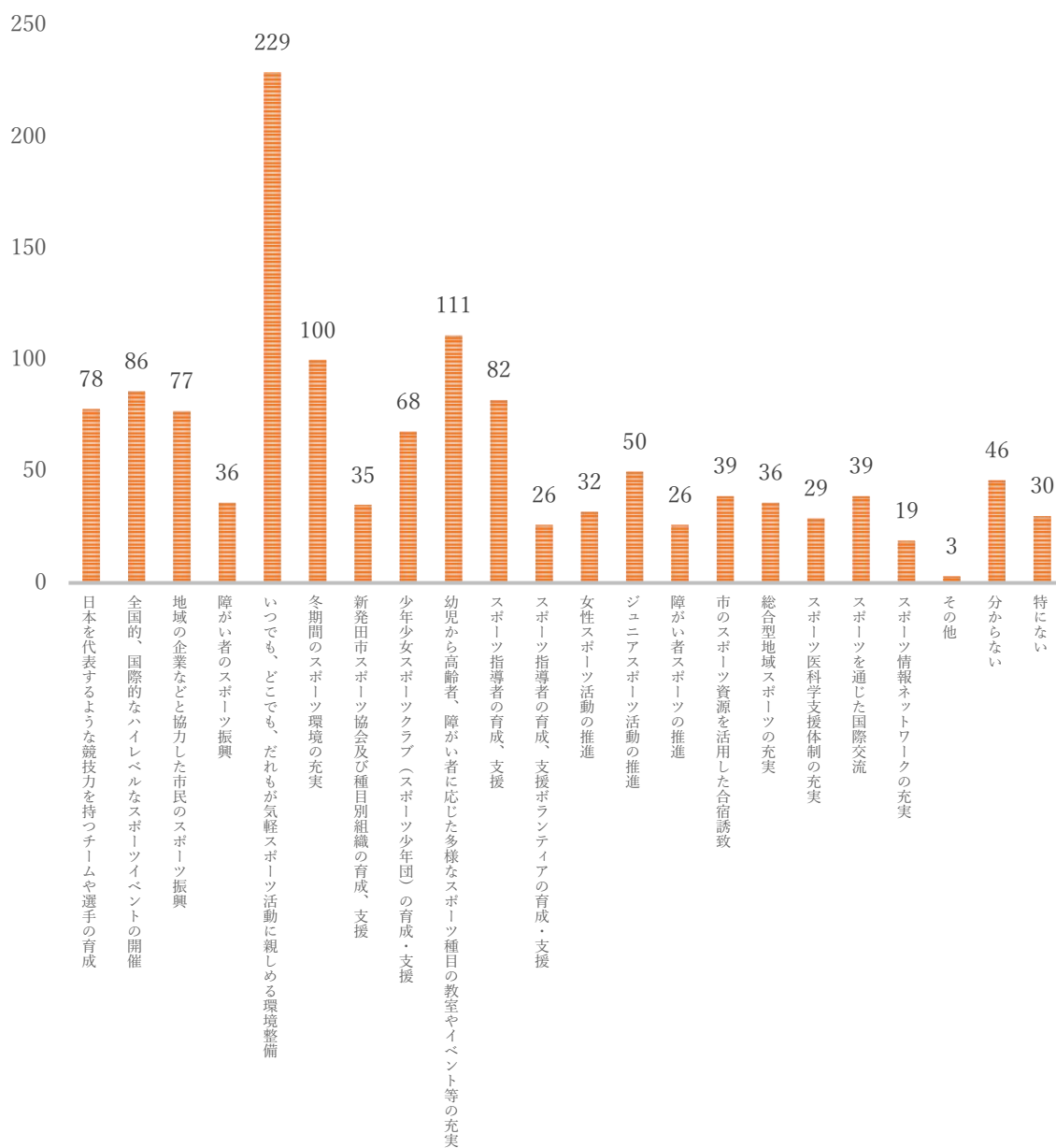


図56.スポーツ振興策として具体的に力を入れてほしいこと（人数）

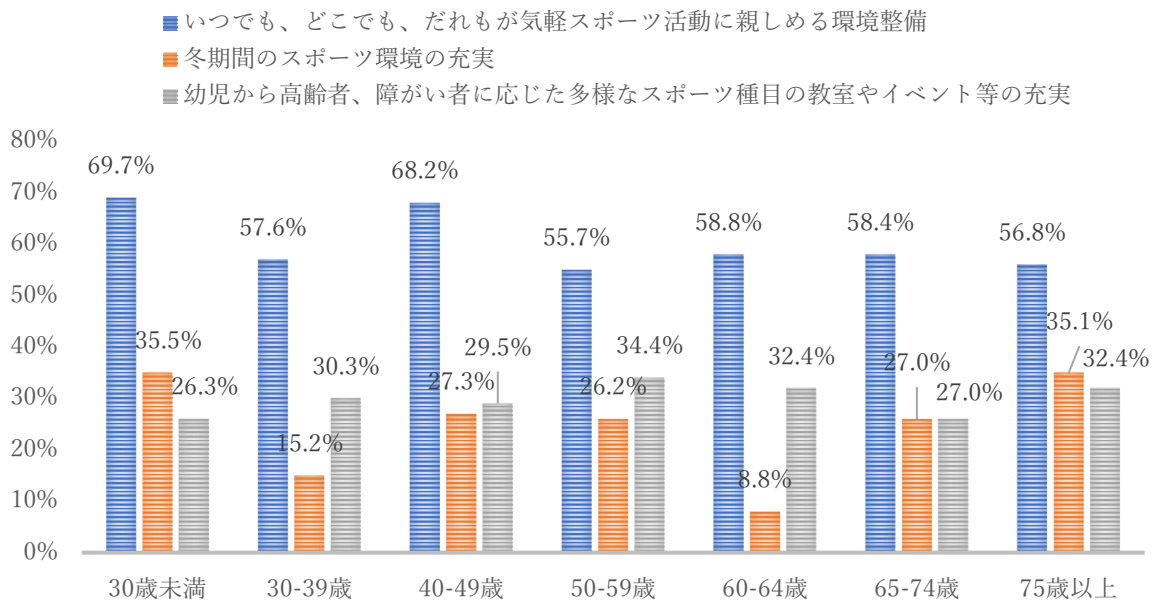


図57. スポーツ振興策として具体的に力を入れてほしいこと・年齢別 (%)

3) スポーツ行政全般に対する意見など

表 3. スポーツ行政に対する意見

施設	① 五十公野公園陸上競技場 1万5千人を収容かつ電光掲示板つきのスタジアムにしてアルビレディースの本拠地かつアルビの男子チームも年に1試合くらいできるスタジアムにしてほしい。
	② サイクリングロードの道が悪い。そのため、ロードバイクが乗りにくい。整備して欲しい。サイクリングロードを使用しての市民ライドを希望します。お願いします。
	③ サバイバルゲームのフィールドがあったら多分行きます
	④ 学校開放を利用していますが、申請した希望日で活動ができません。(申請できる学校や枠が少ない)スポーツ環境の整備・改善を望みます。
	⑤ 格闘技のジムが少ないので、出来ると良い。
	⑥ 冬期間練習を行うのが大変ですので、これから室内を含めて練習出来る場を増やしてほしいです。
	⑦ 村上市や新潟市のように、子どもの時から親しみやすく自由にできて楽しめるスポーツ施設が欲しい。オリンピックに出場できる素地づくりをもっともって欲しい。
	⑧ 例えば、野球、サッカー、プロ野球、Jリーグサッカーを五十公野球場でやる事が新発田市の野球、サッカー少年が喜びます！
	⑨ 子どもや高齢者が通いやすい街中に 1年中使える市民プールを作ってほしい。

事業	<p>① マラソン大会のように、地域外からの参加を見込めるようなスポーツイベントを立ち上げられたら良いと思う。</p> <p>② 健康寿命を高める為のキャンペーンが有ると良いと思う。</p> <p>③ 湯の平登山の再開</p> <p>④ 交通手段がない。交通機関の時間、本数を増やしてほしい。(電車、バス、送迎など)※少なすぎて困っています。</p> <p>⑤ 特に、中高年の方をベースに寝たきり、もしくは痴呆認知症の方を減らすため、市の取り組みが必要と感じます。少額の参加費で楽しみながらできるコミュニティのスポーツをもっと行ってください。最終的には、市の活性化や寝たきりの老人を減らす、いい方向に行くと考えられます。</p> <p>⑥ 視野を広げてインターネットでシャッター街をどのようにしているのかを見るといいと思う。閉じている店を昔の「お手玉」や「ベーゴマ」「けん玉」などで、若者の集まる場所に変えてみては。体を動かすことの楽しさや面白さを、ゲームが今人気ですが違うことで出会うことは新鮮ではと思うのですが、兄はメンコに夢中になっていた・品物を並べて置くだけでなく、やって見せてどのようにするのかを見せる楽しさを「今」昔を若者たちに喜ばれていると言われているから、今の若者に喜ばれると思う。</p> <p>⑦ 今の子どもたちは日常、忙しいので、毎回の曜日が決まっているとスケジュールの関係で参加できないことがあります。すぐに出来上がったサークルは誰でも一人で参加するのは難しい、同じ人たちが参加しつづけるのはスポーツ関係に限らず検討の余地ありと思います。</p> <p>⑧ 自営のため、土日のイベントは参加できないので、平日のイベントも考えていただければありがたいです。</p>
その他	<p>① 私はバスケットボールをやっていたのだが、社会人になり大会などに参加できずつまらない。最近になり 3×3 とかをやっているが、もっと 5×5 の試合などやってほしい(私が情報に弱いだけかも??)</p> <p>② 競技力をもつチーム、選手の育成により、興味をもたせて、競技力を上げる環境づくり。体だけではなく、脳を使うのもスポーツだと思うので、将棋、麻雀も認知症の予防に有効。麻雀なら、新発田市出身の堀さん等トッププロもいます。</p> <p>③ スポーツ指導者の支援(とくに小学校スポーツ)。ボランティア(指導者)の方がほとんどだと思いますが、保護者の方のチームへの参加の仕方がキツイ(口撃等)。保護者が幼稚すぎる。ボランティア指導者のメンタルケアが必要。</p>

④ 学校内の部活動で、教師指導者から、地域化及び少子化が進むなかでの体制の変化に対応できるように即応ならびに検討して頂きたい。また、指導者には特にスポーツ学や心理、医学面などの研修の義務化及び更新時の研修の義務化等推進してほしいと考える。
⑤ 日本を代表する選手に育成するには、ジュニアの指導態勢の充実が重要である。
⑥ アンケートは紙でなく電子で実施したほうが良い。郵送等のコストもかからず、Ecoである。集計も容易である。
⑦ 健康のためと思って、できるときに歩いたりしていますが、お友達とかできればもっと楽しく運動出来るかとも思います
⑧ 障がい児が運動できる環境づくり
⑨ 大切な税金は老人人口の多い新発田市でもっとそちらのほうに使ってほしい。実際、65歳になって年金は少なく、今後、先行き、不安しかないのに、病気や老後の生活でスポーツを楽しむ心に余裕がありません。
⑩ 現在、どの様なスポーツ振興施策をしているのか、判らない

表 4. 新発田市と国・新潟県

設問	評価指標	現状値 (R5)	参考値		調査元
			国(R4)	県(R4)	
健康であると思うか	「健康である」、「どちらかといえば健康である」の割合	74.5% (満 15 歳以上)	81% (18 歳～79 歳)	—	市：スポーツに関する市民意識調査
体力に自信があると思うか	「自信がある」、「どちらかといえば自信がある」の割合	44.3% (満 15 歳以上)	45.6% (18 歳～79 歳)	—	
運動不足を感じているか	「大いに感じている」、「ある程度感じている」の割合	73% (満 15 歳以上)	76.2% (18 歳～79 歳)	—	国：スポーツの実施状況等に関する世論調査
スポーツをすることは好きか	「好き」の割合	63% (満 15 歳以上)	—	62.3% (18 歳～79 歳)	県：県民アンケート調査「スポーツに対する意識及び実施状況について」
この 1 年間のスポーツ実施状況(日数)	「週に 1 日以上」の割合	56.8% (満 15 歳以上)	52.4% (18 歳～79 歳)	56.6% (18 歳～79 歳)	
今後行ってみたいスポーツはあるか	「ある」の割合	63% (満 15 歳以上)	65.4% (18 歳～79 歳)	—	